

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立電気温水器
水道直圧タイプフルオート

BE-FS37DWD
BE-FS46DWD



このたびは日立電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 → P.4~9 をお読みいただき、正しくお使いください。

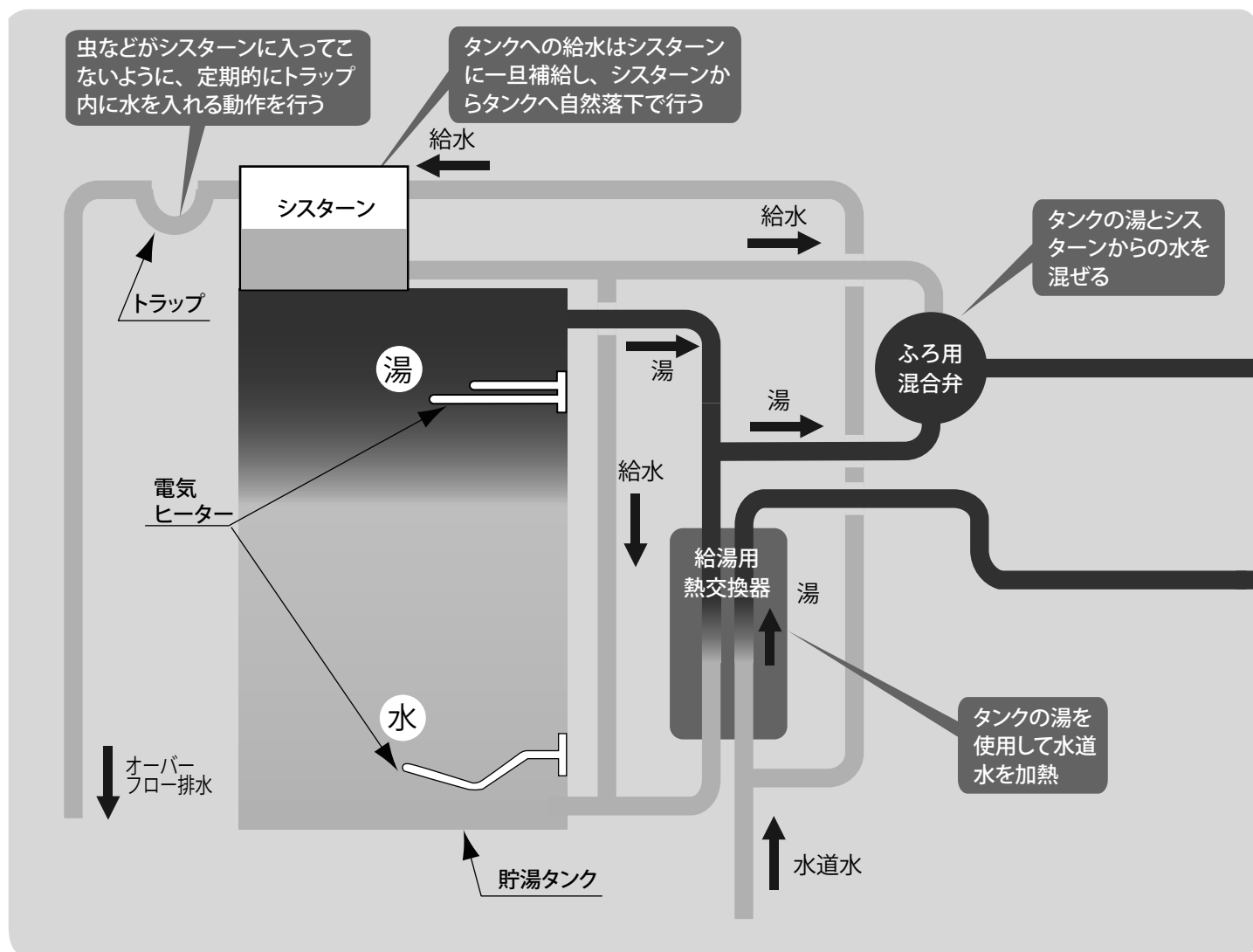
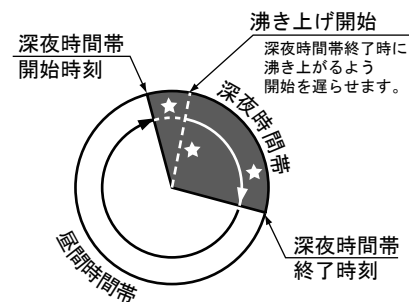
日立電気温水器
ナイアガラ出湯
水道直圧タイプ

はじめに (特長とお知らせ)

電気温水器のしくみ

電気温水器は、タンクに貯えた水を電気代のお得な深夜電力を利用して沸き上げ、台所や洗面所、お風呂などでお湯が使えるようにする機器です。お湯は、タンク内に内蔵した電気ヒーターで沸き上げます。

■本製品のしくみ



■湯張りを行うことで、タンク内に新しい水を入れます

夏場など給湯(シャワー)のみの使用になる場合でも、1か月に1回は「ふろ自動」で湯張りを行い、タンクに新しい水を入れることをおすすめします。

■電力料金契約を選んで更に経済的

この温水器は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型・深夜電力通電制御型のいずれかで契約されています。ご使用の前に必ず契約内容をお買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。 →P.19

契約内容を確認の上、ご使用ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

●操作早見表	3
●安全上のご注意・ご使用上のご注意	4

各部の名前とはたらき

●温水器本体	10
●配管	10
●リモコン	11
●メニュー内容	13
●残湯量のみかた	14

使いかた

●混合水栓（蛇口）について	15
●はじめてお使いのときに	
・必ず確認しましょう	16
・初期設定をする（現在時刻・現在日付・電力契約・タンク湯切防止詳細）	17
・タンクの設定（湯量・湯切防止）	21
●お湯を使う	
・給湯温度の確認・設定	23
・浴室優先とチャイルドロック設定	24
●おふろの使いかた	
・湯張りから入浴までの手順	25
・おふろの設定（温度・水位・保温時間・自動機能）	26
・ふろ自動運転のしかた（ふろの湯張り）	27
・入浴中にできること（追焚き・足し湯・さし水・高温さし湯）	29
●便利な機能	
・半身浴をする	33
・ふろ予約をする	34
・インターホンを使う	35
・音声ガイドモード・音量を設定する	36

こんなとき

●お湯が不足しそうなとき（沸き増しをする）	37
●使えるお湯の量を知りたいとき（42℃換算）	39
●過去の使用パターンを知りたいとき	39
●数日間お湯を使わないとき	40
●画面が見にくいとき（コントラスト設定）	41
●凍結防止について（外気温が低いとき）	42
●長期間お湯を使用しないとき（タンクの排水のしかた）	43
●非常用水として使用するとき	44
●停電のとき・断水のとき	45

お手入れ・お困りのとき・アフターサービスなど

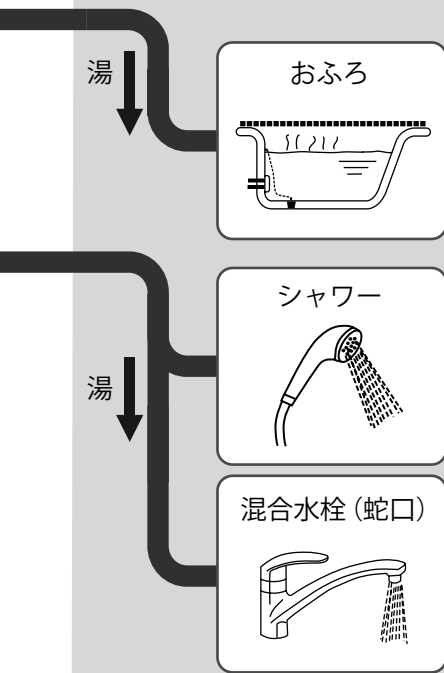
●お手入れと点検	46
●こんなときは故障ではありません	49
●リモコンに点検表示がでたら	50
●お困りのときは	51
●仕様・保証とアフターサービス・用語集	53

■お湯が出るしくみ

シャワーや混合水栓（蛇口）
タンクのお湯を使用して、給湯用熱交換器で水道水を温め、リモコンで設定された温度のお湯をつくります。お湯は、高い水道圧のまま給湯されます。

おふろ

タンクのお湯とシスターンからの水をふろ用混合弁で混ぜることで、リモコンで設定された温度のお湯をつくります。



操作早見表

初めてお使いのときに	お湯を使うときに	浴室で使うときに	日頃の操作や点検	季節の変わり目など	故障かなと思ったら
<p>→ P.2</p> <p>もくじ</p> <p>取扱説明書に何が書いてあるか確認します</p>	<p>→ P.15</p> <p>混合水栓について</p> <p>混合水栓(蛇口)を理解し安全に使しましょう</p>	<p>→ P.24</p> <p>浴室優先とチャイルドロック</p> <p>操作の禁止/許可の設定をする</p>	<p>→ P.17</p> <p>初期設定をする</p> <p>時刻が合っていないと電気代が割高になります</p>	<p>→ P.17</p> <p>初期設定を確認する</p> <p>設定内容の確認をする</p>	<p>→ P.49</p> <p>こんなときは故障ではありません</p> <p>故障と勘違いすることが多い現象を紹介します</p>
<p>→ P.4</p> <p>ご使用上の注意</p> <p>危害や損害を未然に防ぐための重要事項です</p>	<p>→ P.24</p> <p>浴室優先とチャイルドロック</p> <p>操作の禁止/許可の設定をする</p>	<p>→ P.25</p> <p>おふろの使いかた</p> <p>湯張りから入浴までの手順と機能を説明します</p>	<p>→ P.42</p> <p>凍結防止について(外気温が低いとき)</p> <p>冬場はおふろを使わないときもお湯をすてない</p>	<p>→ P.39</p> <p>使えるお湯の量を確認する</p> <p>就寝前に残りのお湯の量を確認する</p>	<p>→ P.51</p> <p>お困りのときは</p> <p>間違った操作がないか事前に確認しましょう</p>
<p>→ P.10</p> <p>各部の名称とはたらき</p> <p>温水器を操作するための基本事項です</p>	<p>→ P.23</p> <p>お湯を使う</p> <p>便利にお使いいただくためにお読みください</p>	<p>→ P.26</p> <p>おふろの設定</p> <p>便利にお使いいただくためにお読みください</p>	<p>→ P.40</p> <p>数日間お湯を使わないとき</p> <p>温水器を休止させ、電気代を節約します</p>	<p>→ P.21</p> <p>タンク設定を確認する</p> <p>お湯の沸かしすぎ防止、湯切れ防止ができます</p>	<p>→ P.50</p> <p>リモコンに点検表示がでたら</p> <p>リモコンに表示されたエラーコードを解説します</p>
<p>→ P.16</p> <p>はじめてお使いのときに</p> <p>正しくお使いいただくための確認事項です</p>	<p>安全にお湯が使えます</p>	<p>→ P.29</p> <p>入浴中にできること</p> <p>追焚き・足し湯・さし水・高温さし湯ができます</p>	<p>→ P.10</p> <p>各部の名称とはたらき</p> <p>普段使わない貯湯タンク周りの名前も理解する</p>	<p>電気代の節約ができます</p>	<p>→ P.54</p> <p>点検の依頼をします</p> <p>販売店や工事店または、エンジニアリングセンターへ</p>
<p>→ P.17</p> <p>初期設定</p> <p>時刻と電力契約の設定は必ずおこなないましよう</p>		<p>→ P.34</p> <p>ふろ予約のしかた</p> <p>湯張りを完了させたい時間を設定できます</p>	<p>→ P.46</p> <p>お手入れと点検</p> <p>週に1回、月に1回、半年に1回の手入れと点検</p>		
<p>温水器の性能を発揮します</p>		<p>安全・便利に使えます</p>	<p>→ P.43</p> <p>長期間お湯を使用しないとき</p> <p>1ヶ月以上使用しない、汚れた水が入ったときなど</p>		
			<p>清潔・長持ちで安心です</p>		

●メモ(機器の現象を正しく伝えましよう。)

安全上のご注意 (必ずお守りください)

※この給湯機は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

据付け時の確認

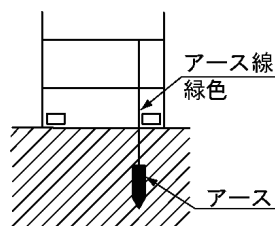
警告



アース工事を確認する

確認

- 故障や漏電のときに感電することがあります。



注意



機器がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

- 脚……4か所
- 本体上部……1か所

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。



防水処理・排水処理されていない床面には機器を設置しない

禁止

- 処理されていないと、水漏れが起きたときに階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。

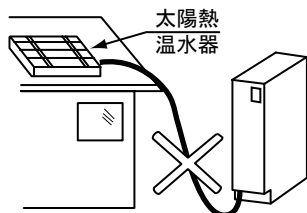
⚠ 注意



太陽熱温水器のお湯を給水管につながない

禁止

- 太陽熱温水器との接続はできません。故障の原因になります。



凍結防止対策の確認をする

確認

→ P.42

- 凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



水道水を使用する

確認

- 必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。タンクや配管の腐食、給湯用熱交換器が詰まるなどの原因になります。

安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

⚠ 警告



給湯温度の変更は、他の混合水栓の使用状況を確認してから行う

やけど注意

→ P.23

- 他の人がお湯を使っているときに給湯温度の変更を行うと大変危険であり、やけどをすることがあります。
- シャワーを使用するときは、「浴室優先」の設定にしてください。



湯張り中に、入浴しない

やけど注意



- 湯張り中は、高温の湯が「ふろ循環アダプター」から出る場合があります。



浴そうの湯温を指先などで確かめてから入浴する

やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。



給湯時は混合水栓のハンドル以外に手を触れない

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。やけどにご注意ください。



安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

警告

シャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。シャワー給湯には、必ずサーモスタット付混合水栓をご使用ください。



入浴時はふろ循環アダプターから離れる

→P.27 →P.29 →P.32

やけど注意

- 「ふろ自動」「追焚き」「高温さし湯」のときに高温の湯がでることがあります。やけどにご注意ください。



漏電遮断器 (2か所) の動作を確認する

→P.46

動作確認

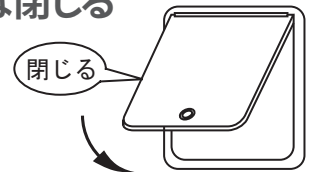
- ※漏電遮断器のテストボタンを押して「入」から「切」になれば正常です。
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。



操作カバーは閉じる

→P.10

閉じる

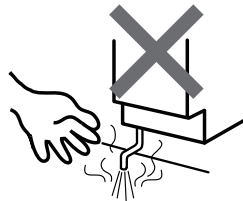


- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

やけど注意 →P.43

- 熱湯が出てやけどをすることがあります。



異常 (こげ臭いなど) 時は、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する

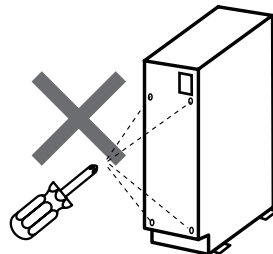
→P.46

- 異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

前面カバーを開けない

分解禁止

- 開けると、感電することがあります。



機器の近くにガス類や引火物を置かない

禁止

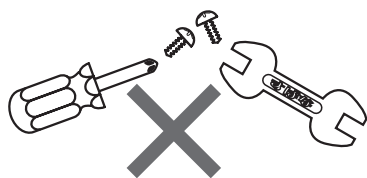
- 発火や火災になることがあります。



分解・修理・改造を行わない

分解禁止

- 発火や、異常動作の原因になることがあります。



入浴中にもぐらない

禁止

- ふろ循環アダプターに髪の毛を吸い込まれる恐れがあります。

安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

警告



子供を浴室内で遊ばせない

禁止

- 思わぬ事故の原因となります。



お湯の使いはじめに注意する

やけど注意

- 朝の使いはじめは、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。



ふろ循環アダプターのフィルターを外して使用しない

→ P.46

禁止



- 髪の毛を吸い込まれるなど思わぬ事故の原因となります。



ふろ循環アダプターをふさがない

禁止

- やけどの原因となります。
- 温水器の故障や配管の水漏れの原因となることがあります。



ふろ循環アダプター

注意



配管の保温工事を確認する

- 配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。
- 保温工事を販売店にご依頼ください。



お風呂のお湯は口にふくまない

禁止

- 不衛生ですから、お風呂のお湯は口にふくまないでください。



非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

→ P.44

やけど注意

- 熱湯が出ます。やけどにご注意ください。ガラス容器などは、熱により割れることがあります。



冬季、電源スイッチを「切」にする場合は、機器の水抜きをする

- 温水器が満水のまま電源スイッチを「切」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因となります。



機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止

- 事故・やけどの原因となります。



積雪時には除雪をする

- 温水器の周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因となります。

安全にお使いいただくために (必ずお守りください)

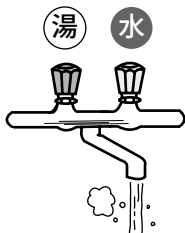
⚠ 注意



混合水栓は水から開く

やけど注意

- まず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開いて適温にしてください。湯栓だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があります、非常に危険です。



朝一番のお湯は、飲用したり調理に使用したりしない

禁止

- 機器や配管内に長期間たまった水や、朝一番のお湯は、飲用や調理に使用せず、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。



1か月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、タンクの排水をする

電源確認

→ P.43

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないとタンクや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。



断水時は、シャワーや混合水栓 (蛇口) を閉める

→ P.45

- 開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓から湯 (水) が出ます



温水器の熱湯を直接排水しない

やけど注意

- 熱湯のまま排水すると、やけどをしたり、排水管などが破損することがあります。必ずタンク内を水にしてから排水してください。

ご使用上の注意

■契約している電力を確認する

- 契約している電力によってはご利用いただけない機能があります。
- 契約方法は電力会社または、販売店までご相談ください。

■リモコンの時刻を確認する

- 月に1度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。 → P.46



- 時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

■入浴剤を使うときのご注意

- イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しないでください。
 - 入浴剤の注意書きをよく読んでご使用ください。また、温泉のお湯は使用しないでください。
- ※本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。

■湯張りをするときのお願い → P.27

- 湯張りをするときには
 - ・浴そうの排水栓を閉める。
 - ・浴そうのふたをする。
- ※残り湯があっても湯張りできます。「ふろ自動予約」をするときも同様です。

■温度が変動することがあります

- 水道の圧力が変動したり、給湯量を変更した場合給湯温度が変動することがあります。

■湯張り中の給湯

- 湯張り中にシャワー、混合水栓(蛇口)を使用しますと、シャワーや混合水栓(蛇口)の湯温や湯量が変わることがあります。
- 湯張り中にシャワー、混合水栓(蛇口)を使用しますと、湯張り時間が長くなることがあります。

■深夜時間帯のご使用について

- 温水器は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き増しを行い電気料金が高くなる場合があります。
- 深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。



→ P.19

■停電時のご注意

- 停電時は、給湯・ふろ機能とも使用できません。(水は出ます) → P.45

■給湯・湯張り中は……

- 給湯・湯張り中は、ポンプ作動音、タンクへの給水音がします。
- 水道の圧力が高いときは、給水音が大きくなります。

■お湯を上手に使う

- 1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。
- 流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
 - ・シャワーは止めながら(髪を洗っているときは止めましょう)
 - ・洗いのものをするときも止めながら

■外気温が低いときは…… → P.42

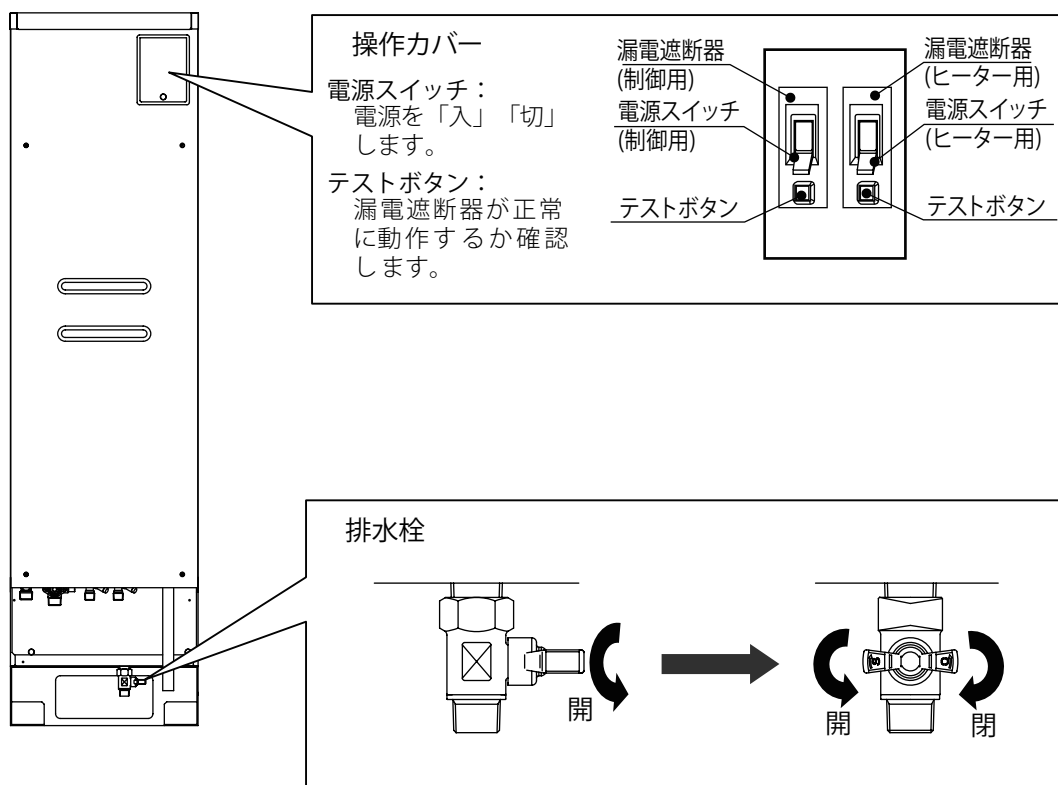
- 配管が凍結する場合がありますので、お風呂のお湯はぬかないでください。

■オーバーフロー排水管からの排水

- 下記の際にオーバーフロー排水管から排水されます。
 - ・沸き上げ時に発生する膨張水が排水されます。
 - ・湯張り時最初のシスターン内の水位によっては、排水する場合があります。
 - ・1週間に1回午後1時に機器のメンテナンスのため排水します。

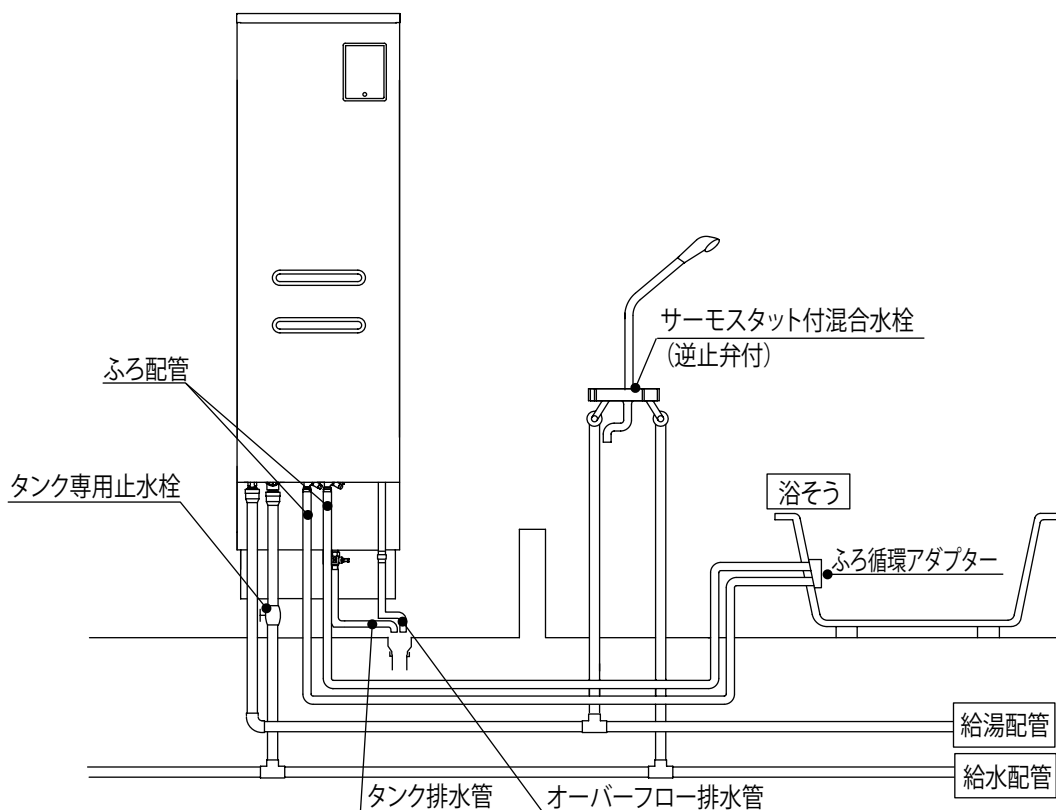
各部の名前・温水器本体

温水器本体



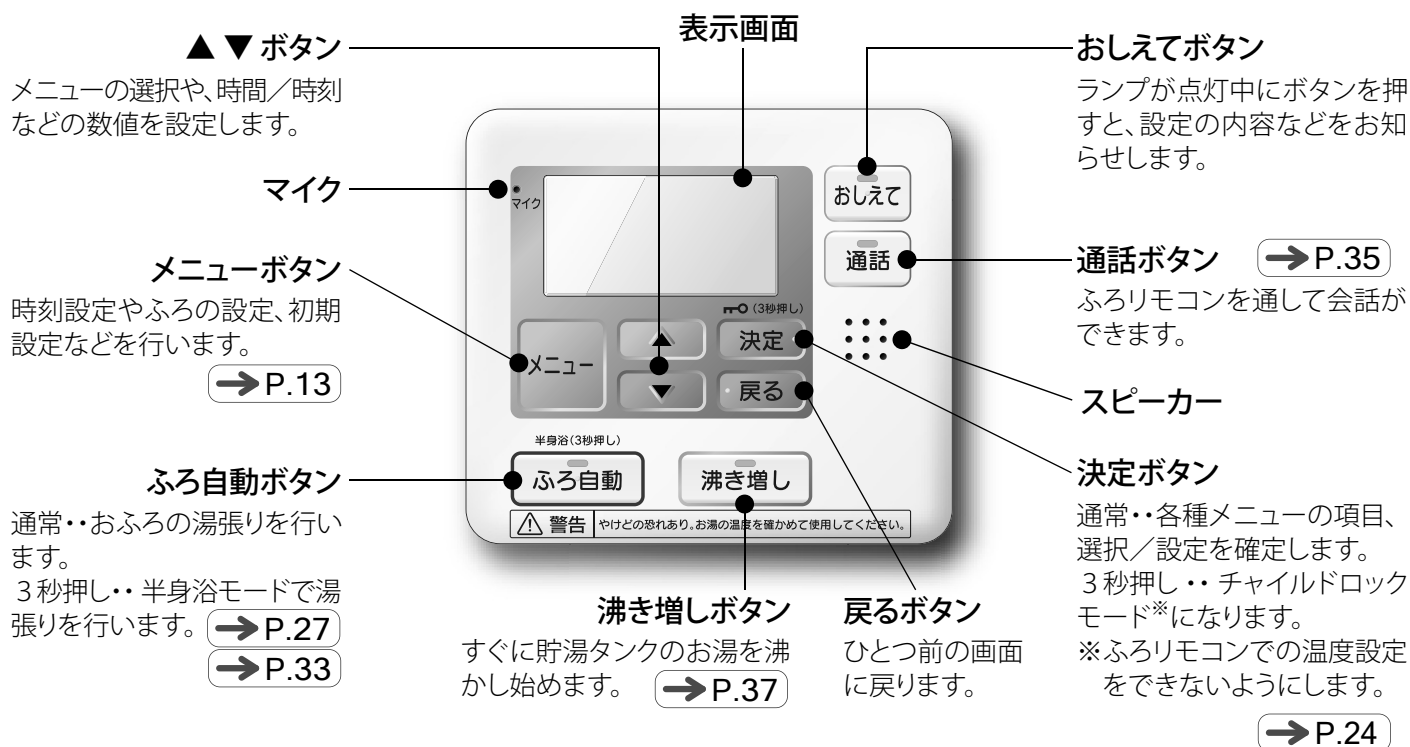
配管

システム全体の配管

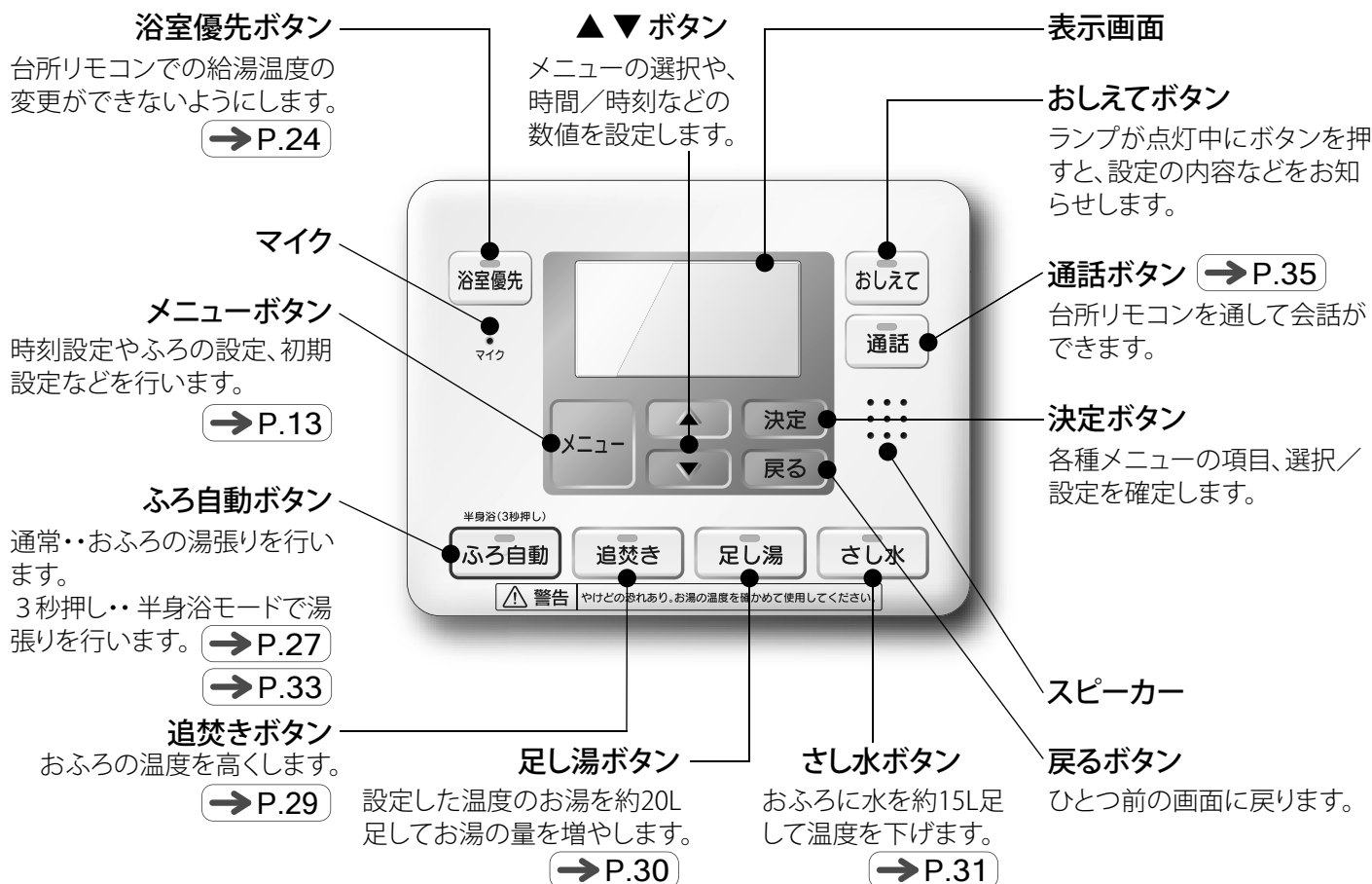


各部の名前・リモコン

台所リモコン



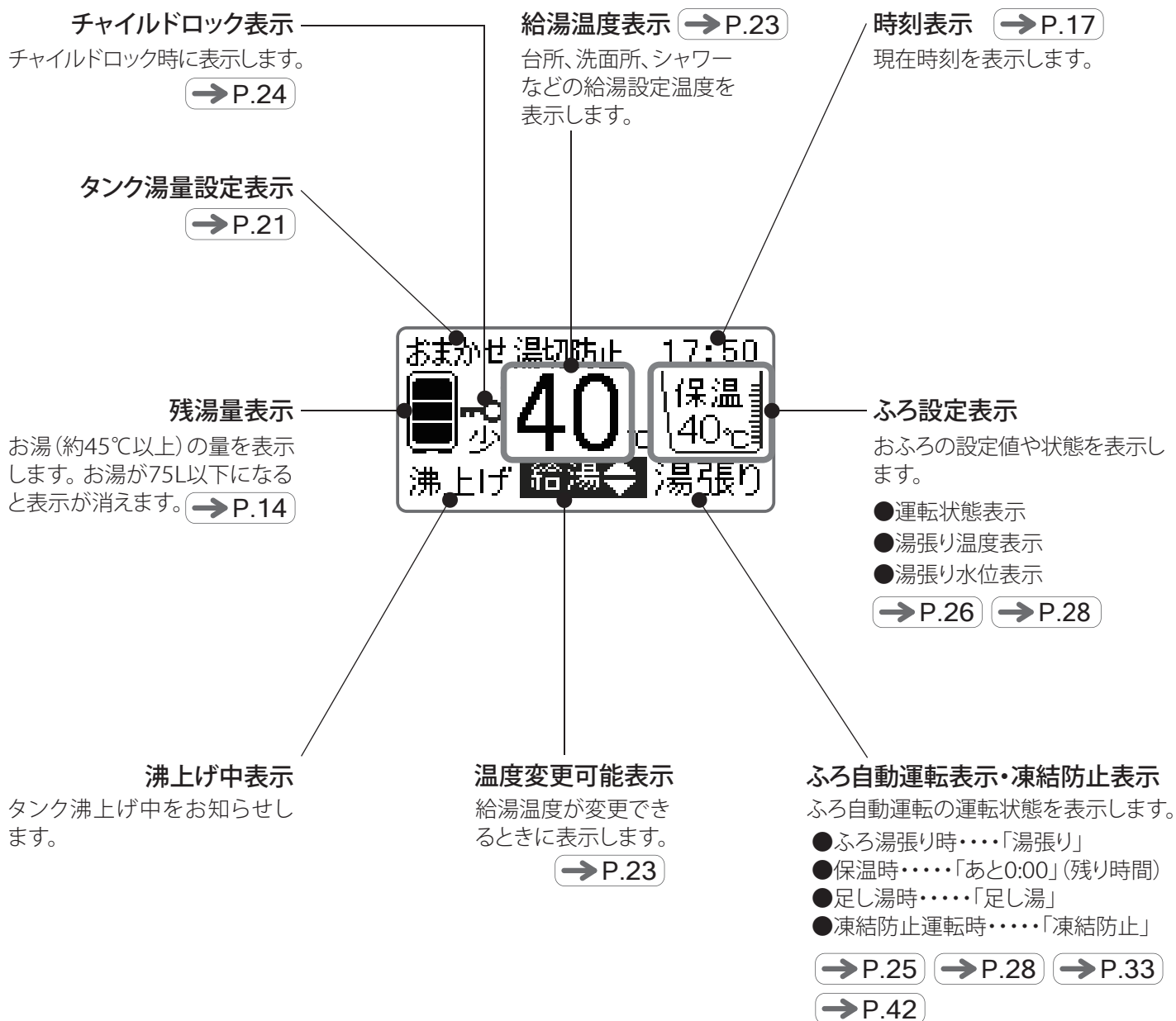
ふろリモコン



表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。

●台所リモコン、ふろリモコンの表示画面は同じです。



お知らせ

- 台所リモコン、ふろリモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。ただし、再度ボタンを押すとバックライトが再点灯します。
- 台所リモコン、ふろリモコンは、バックライト点灯時のみ、操作が可能です。
- ふろリモコンの外カバーとふろリモコン本体の間に水滴が入った場合、ふろリモコンのランプ点灯部位に水滴が見えることがありますが、ふろリモコン本体は防水してあるため、そのまま使用しても問題はありません。

メニュー内容

台所リモコンのメニュー内容

メニュー項目	設定項目	概要	頁
ふろ予約	①ふろ予約	おふろの湯張り完了時刻を設定、予約します。	→ P.34
ふろ設定	①湯張り温度設定	湯張り温度を設定します。	→ P.26
	②湯張り水位設定	湯張り水位を 3cm 刻みで設定します。	
	③保温時間設定	自動で保温、足し湯をして、設定温度・水位を保持する時間を設定します。	
	④自動機能	保温（自動）時間中、「保温のみ」または「保温・水位」のいずれを保持するかを設定します。	
タンク設定	①湯量設定	おもに深夜時間帯にタンクで沸き上げるお湯の温度を設定します。	→ P.21
	②湯切防止設定	タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないを設定します。	→ P.22
その他設定	①音声ガイド	音声ガイドの仕方、有無を選択します。	→ P.36
	②ガイド・ブザー音量	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
	③通話音量	通話時の音量を設定します。	
	④タンク休止	タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	
初期設定	①現在時刻合わせ	現在時刻を合わせます。	→ P.17
	②現在日付合わせ	現在日付を合わせます。	→ P.19
	③電力契約	契約されている電力の種類を設定します。	→ P.20
	④湯切防止詳細	「湯切防止」を動作させない時間帯を設定します。	→ P.39
湯量確認	①残湯量（本日）	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。	→ P.39
	②使用湯量（週間）	1週間のお湯の使用量の変化を表示します。	

ふろリモコンのメニュー内容

メニュー項目	設定項目	概要	頁
ふろ予約	①ふろ予約	おふろの湯張り完了時刻を設定、予約します。	→ P.34
ふろ設定	①湯張り温度設定	湯張り温度を設定します。	→ P.26
	②湯張り水位設定	湯張り水位を 3cm 刻みで設定します。	
	③保温時間設定	自動で保温、足し湯をして、設定温度・水位を保持する時間を設定します。	
	④自動機能	保温（自動）時間中、「保温のみ」または「保温・水位」のいずれを保持するかを設定します。	
高温さし湯	①高温さし湯	「高温さし湯」を開始 / 中止します。	→ P.32
沸増し	①沸増し	タンクの沸き増しを開始 / 中止します。	→ P.37
その他設定	①音声ガイド	音声ガイドの仕方、有無を選択します。	→ P.36
	②ガイド・ブザー音量	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
	③通話音量	通話時の音量を設定します。	
洗浄	①洗浄	ふろ配管の洗浄を開始 / 中止します。	→ P.48

残湯量のみかた

残湯量のみかた

■残湯量表示は…

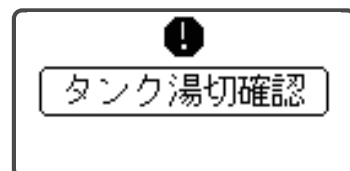
- 給湯やお風呂に使えるお湯の湯量を表示します。
- 残湯量表示は、お湯を使わなくても、追焚きや自然放熱などで表示が少なくなる場合があります。



残湯量表示

■湯切れ注意

- 残湯量が少なくなると「タンク湯切確認」が、約 10 秒間表示されます。その後の使用量に応じて「沸き増し」を行ってください。



残湯量が少なくなると約 10 秒間表示

→ P.37

■残湯量表示が消灯したあとも、お湯は残っています

- 残湯量表示が消灯したあとも、約 75L のお湯が残っていますので、しばらくは給湯用としてお湯が使えます。

■使えるお湯の量

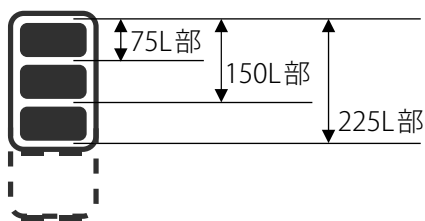
- タンクには常温（水）から最高 90°Cのお湯があり、そのお湯と水を混合させるので、実際にご使用になれるお湯の量と残湯量表示には差があります。平均 42°Cに換算した場合の湯量も確認できます。→ P.39

■残湯量のめやす

○＝使用できます。 △＝湯切れする場合があります。 ×＝湯切れします。

表示	タンク内の温度のめやす	残湯量のめやす	使用のめやす		「湯切防止・少量」を設定していると
			給湯、シャワー	湯張り	
	約 50°C以上	225L 以上	○	○	タンク内のお湯の温度状況により「沸き増し」を開始して、湯切れを防ぎます。
	75L 部、150L 部は約 50°C以上 225L 部は約 45°C以上				
	約 50°C以上	150L 以上	○	○	
	75L 部は約 50°C以上 150L 部は約 45°C以上			△	
	約 50°C以上	75L 以上	○	△	
	約 45°C以上				
	約 45°C未満	75L 未満	△	×	

●残湯量表示と貯湯タンク内の湯量イメージ



お知らせ

- お湯が 225L 以上ある場合、残湯量表示の点滅消灯はしません。
- 残湯量表示は約 45°C以上のお湯の量を表示しています。残湯量表示が出ていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48°C）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46°C）のお湯が出る場合があります。
- 75L 部の残湯量表示が点滅状態から消灯が変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声がでます。

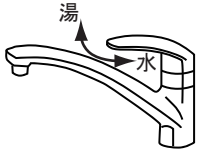
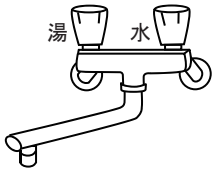
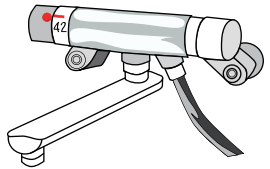
●型式とタンクの容量

型式	タンク容量
BE-FS37DWD	370L
BE-FS46DWD	460L

混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

- 温水器を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観			
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

- シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。
- サーモスタット付混合水栓は、お風呂やシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓のご使用をおすすめします。

お知らせ サーモスタット付混合水栓を使用する場合は、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

レバー、ハンドルの開閉は水側から ゆっくりと

- 他の場所から給湯温度を変更している場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。
- 給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

- 流量が少ないと
流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。
- 流量が多いと
一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると、温度が低くなることがあります。その場合は混合水栓を少し閉めてください。



警告

給湯時は混合水栓のハンドル以外 に手をふれない

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。やけどにご注意ください。




はじめてお使いのときに(必ず確認しましょう)

1 使用できる状態かを確認します。

- 1 温水器の、タンク専用止水栓は「開」になっていますか? → P.10
- 2 200V電源ブレーカーの、電源スイッチは「入」になっていますか?
- 3 温水器の、漏電遮断器のスイッチ(2か所)は「入」になっていますか? → P.10



2 台所リモコンの表示画面は点灯していますか?

- 点灯していないときは  ボタンを押してみてください。
- それでも点灯しない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。
- 表示画面に縦線がでるなど、見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 → P.41


3 時刻は合っていますか?

- 合っていない場合は「初期設定」をしてください。 → P.17
- 「初期設定」ができたなら 4 に進みます。

4 残湯量の表示を確認します。

- 残湯量が表示の  より多い場合は、お湯を使うことができます。 ※残湯量の見かた。 → P.14
- 残湯量が表示の  ような場合は、次の確認をしてください。


A 「沸上げ」が表示されている場合

-  が表示されるまでお待ちください。(約60分~120分)

B 「沸上げ」が表示されていない場合

- 「沸き増し」ボタンが点灯していなければ

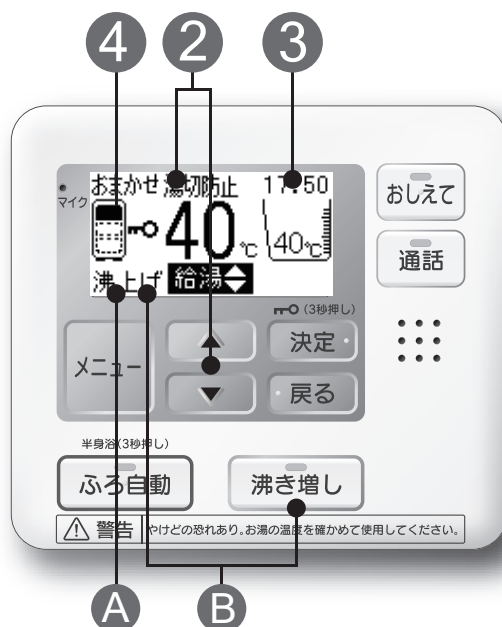
 ボタンを押す。

 が表示されたらお湯を使うことができます。

お願い

- タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、電源が「切」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「電源を「入」にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。
- 使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。 ※作業は有償になることがあります。

台所リモコン



ご注意 時刻表示について

時刻があっていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

表示画面について

各リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

音声ガイドについて

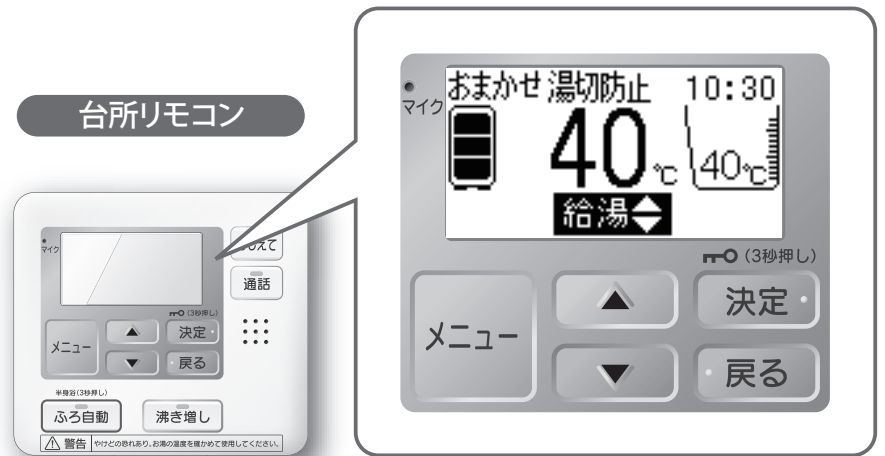
音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の3つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 → P.36

初期設定をする・現在時刻／現在日付の設定

■現在時刻、日付と電力契約の種類などを設定します。

- 台所リモコンで操作します。
- 現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。月に一度は時刻の確認をしてください。
- 電力契約の種類によって、深夜時間帯や料金のお得な時間帯が異なります。電気料金制度を上手に利用するため、必ずご契約されている電力契約の番号を設定してください。 → P.19

(契約内容は、販売店または工事店にお問い合わせください。)



※下記は、現在時刻11時35分、現在日付2008年3月3日、電力契約02、タンク湯切防止詳細02に設定した例です。

1 **メニュー** を押し、
メニュー画面を表示させる

●表示部がメニュー画面に変わります。

2 **↑** を押し、
↓ 「初期設定」を選択する
決定 を押し、**決定する**

●「現在時刻合わせ画面」が表示されます。

3 **↑** を押し、
↓ 「する」を選択する

※「しない」を選択→決定すると「現在日付設定」にすすみます。

決定 を押し、**決定する**

●設定されている現在時刻が表示されます。

4 **↑** を押し、
↓ 「時」を合わせる
決定 を押し、**決定する**

●「分」が反転表示されます。

※時刻は、24時間表示です。昼の12時は、12:00、夜の12時は、0:00と表示します。

※時刻は、気温の変化や停電などにより若干変化します。時刻がずれている場合は、修正してください。

「分」合わせにすすむ

5

- ▲ を押し、▼ 「分」を合わせる
- 決定 を押し、決定する

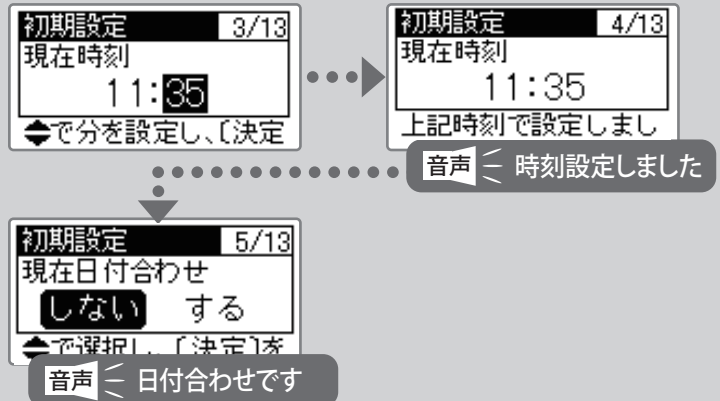
●「現在時刻確認」画面が表示されます。

6

- 時刻を確認し、決定 を押す。

●「現在日付合わせ」画面が表示されます。

- 再度、時刻合わせを行う場合は 戻る を押してください。



7

- ▲ を押し、▼ 「する」を合わせる

※「しない」を選択→決定すると「電力契約設定」にすすみます。

- 決定 を押し、決定する

●設定されている現在日付が表示されます。



8

- ▲ を押し、▼ 「年」を合わせる
- 決定 を押し、決定する

●「月」が反転表示されます。



9

- ▲ を押し、▼ 「月」を合わせる
- 決定 を押し、決定する

●「日」が反転表示されます。



10

- ▲ を押し、▼ 「日」を合わせる
- 決定 を押し、決定する

●「現在日付確認画面」が表示されます。



11

- 年月日を確認し、決定 を押す。

●「電力契約変更」画面が表示されます。

- 再度、日付合わせを行う場合は 戻る を押してください。



電力契約の設定

●電力契約が設定済みであるか、販売店または工事会社にご確認ください。設定がされている場合は、変更する必要はありません。

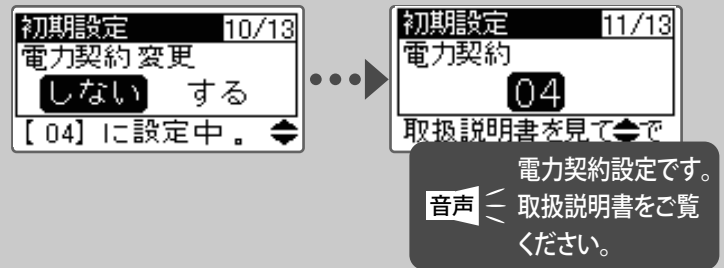
12 ※設定済みの場合は、変更しないでください。

▲ を押し、
▼ 「する」を選択する

※「しない」を選択→決定すると「タンク湯切防止詳細」設定にすすみます。

決定 を押し、決定する

●「電力契約の番号」が表示されます。

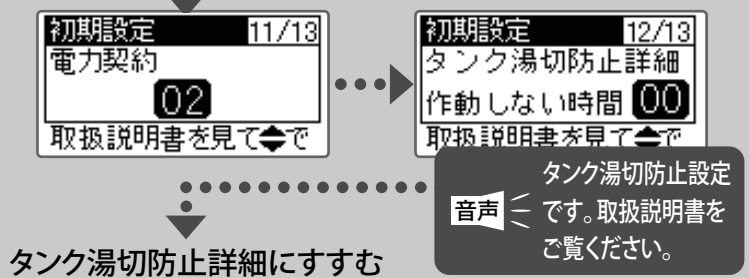


13 ▲ を押し、
▼ 電力契約番号を選択する

※下の図表を参照して番号を選択ください。

決定 を押し、決定する

●決定を押すと「タンク湯切防止詳細」画面が表示されます。



■電力契約の番号と時間帯概要 (2008年1月現在)

※グラフの上の数字は時間を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合わせください。
Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

●契約番号と時間帯名称

電力会社	契約名称	契約番号	契約番号	時間帯名称
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯 22時~6時)	07	00	0 7 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯 23時~7時)	08		
	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯 24時~8時)	09		
東北電力	やりくりナイト8	00	01	0 8 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06		
東京電力	おトクなナイト8	00	02	0 7 10 17 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
	電化上手	02		
	おトクなナイト10	06		
中部電力	タイムプラン	00	03	0 8 10 17 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 昼間時間帯 Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
	Eライフプラン	04		
北陸電力	エルフナイト8	00	04	0 7 9 17 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 朝晩・リビング Bゾーン Cゾーン 朝晩・リビング Bゾーン 深夜
	エルフナイト10 プラス	05		
	エルフナイト10	06		
関西電力	時間帯別電灯	00	06	0 8 22 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン 深夜
	はぴeタイム、はぴeプラン	02		
中国電力	エコノミーナイト	01	07	0 6 16 18 22 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン ピーク 昼間時間帯 Cゾーン Bゾーン 深夜
	ファミリータイプ	03		
四国電力	電化deナイト、得トクナイト	00	08	0 7 16 18 23 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン ピーク 昼間時間帯 Cゾーン Bゾーン 深夜
	時間帯別電灯	00		
九州電力	電化deナイト	05	09	0 8 16 18 24 深夜時間帯 Aゾーン 昼間時間帯 Bゾーン ピーク 昼間時間帯 Cゾーン Bゾーン
	よかナイト10	06		
沖縄電力	時間帯別電灯	00		

タンク湯切防止詳細の設定

●「タンク湯切防止詳細」設定は、電力を節約するためのものです。湯切れが発生しても、深夜電力時間直前の場合は、電気料金を節約するために、タンクの沸き上げをおこなわないようにする機能です。深夜時間帯前 1～3 時間が設定できます。

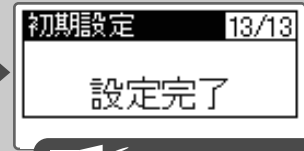
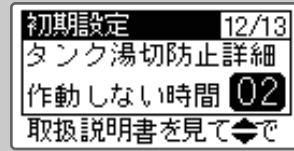
14

- 「タンク湯切防止詳細」画面が表示され、設定されている時間が表示されます。
- 下の表で設定する時間を確認し、選択してください。

▲ を押し、
▼ 作動しない時間を選択する

決定 を押し、決定する

- 「設定完了」画面が表示されます。
- 約 10 秒後に標準画面に戻ります。
- 決定 を押し、10 秒待たずに標準画面に戻ります。



音声 設定しました



- お知らせ**
- 作動しない時間を設定すると、その時間帯はタンクの沸き上げをおこないません。ただし、作動しない時間の前に沸き上げ動作した場合は、沸き上げを継続します。
 - 「湯切防止設定」が、「切」に設定されている場合は「00」時間を設定しても、湯切防止機能は働きません。

→ P.22

■タンク湯切防止詳細の設定時間のめやす

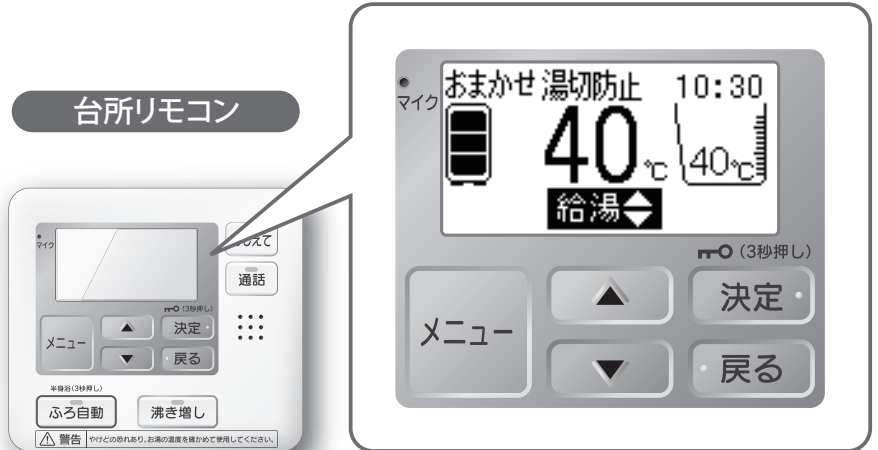
- お湯を使う最終の時間帯によって設定してください。

※深夜時間帯が 23 時から始まる電力契約を例にしためやすです。22 時から始まる電力契約の場合は各時間を 1 時間早めてください。

表示	タンク沸き上げの動作	設定のめやす
作動しない時間 00	深夜時間帯直前でも作動します。	23 時までお湯を使う場合
作動しない時間 01	深夜時間帯 1 時間前から作動しません	22 時以降はお湯を使わない場合
作動しない時間 02	深夜時間帯 2 時間前から作動しません	21 時以降はお湯を使わない場合
作動しない時間 03	深夜時間帯 3 時間前から作動しません	20 時以降はお湯を使わない場合

タンクの設定・湯量／湯切防止

- お買い上げ時は、「標準」「湯切防止」に設定されています。
- タンク設定には、「湯量」「湯切防止」があります。お使いになる前に必ず設定してください。
- 台所リモコンで操作します。
- 使えるお湯の量は、タンクに貯めるお湯の量と沸き上げ温度で決まります。タンクのお湯の量が同じでも、沸き上げ温度が高いほど使えるお湯の量が多くなります。
- 沸き上げた湯量では足らなくなりそうな場合に、自動的に沸き上げる「湯切防止」があります。



※下記は、湯量設定「おまかせ」、湯切防止設定「入」に設定した例です。

1

メニュー を押し、メニュー画面を表示させる

●表示部がメニュー画面に変わります。

2

上 を押し、「タンク設定」を選択する

決定 を押し、決定する

3

●既に設定してある湯量が表示されます。

上 を押し、「湯量」を選択する

※「おまかせ」を選択→決定すると「湯切防止設定」にすすみます。

決定 を押し、決定する

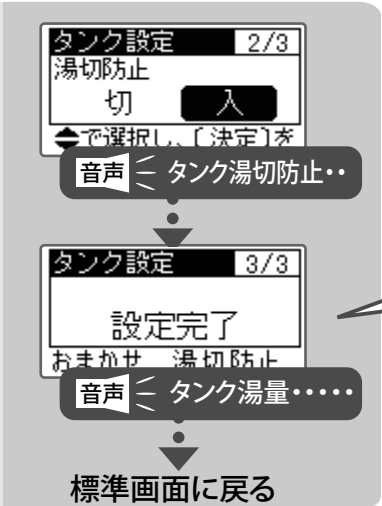
●既に設定してある湯量を、表示と音声でお知らせします。

●設定は右の「湯量設定のめやす」表を参考に設定してください。

●湯量は、「おまかせ」「標準」「控えめ」から選択できます。

4

- 「湯切防止設定」画面が表示されます。
- ▲ を押し、「入」を選択
- ▼ 択する
- 決定 を押し、決定する
- 「設定完了」画面が表示されます。
- 約 10 秒後に標準画面に戻ります。
- 決定 を押しと、10 秒待たずに標準画面に戻ります。



●設定が終わると、設定内容を表示と音声でお知らせします。

湯量設定のめやす

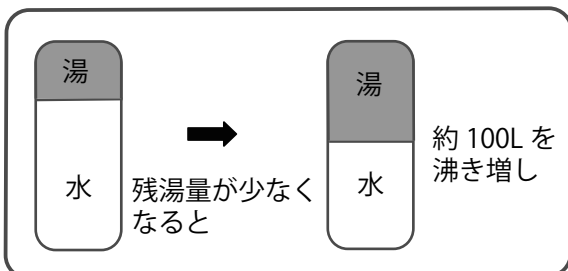
湯量 (沸き上げ温度の目安)	ご使用のめやす	運転状態など
おまかせ (約 75 ~ 90℃)	深夜時間帯のみでお湯を沸かします。 お湯の使用量に応じて沸かす温度を自動的にコントロールします。 ●お湯の使用量がわからない場合 ●家族が多い場合やお湯を多く使用する場合 ●追焚きを使用する場合	過去 1 週間の使用量に応じた湯量を深夜時間帯で沸き上げます。 湯切防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。
標準 (約 90℃)	深夜時間帯のみでお湯を沸かします。 高温でお湯を沸かします。 ●お湯の使用量がわからない場合 ●家族が多い場合やお湯を多く使用する場合 ●追焚きを使用する場合	湯切防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。
控えめ (約 75℃)	深夜時間帯のみでお湯を沸かします。 ●お湯の使用量が少ない場合 ※頻繁にお湯が足りなくなる場合は、「おまかせ」「標準」に変更してください。 ※来客などお湯をたくさん使用する予定がある場合は、お湯が足りなくなるので、前日に「標準」に設定してください。	湯切防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。

お知らせ

- 沸き上げ温度の目安は沸き上げ完了直後のタンク内の温度です。時間の経過とともに少しずつ低下します。
- 極寒期や残湯量が少ないとき、深夜時間帯の沸き上げで設定温度まで沸き上がらない場合があります。また、深夜時間帯にお湯をたくさん使った場合も設定温度まで沸き上がらないことがあります。
- 追焚きを多く使う場合は、「おまかせ」「標準」を使用してください。「控えめ」の場合、湯量が不足し、追焚きできなくなる場合があります。

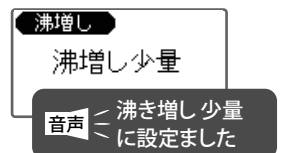
湯切防止とは

設定しておく、タンク内のお湯が減るたびに自動で「沸き増し 少量」を設定し、「沸き上げ設定温度」で約 100L 沸き増しをおこない、湯切れするのを防ぎます。
時間帯別電灯契約を結ばれているお客様は、この設定をされることをおすすめします。「切」に設定するまで毎日継続します。昼間にも沸き増しするため、電気料金が割高になる場合があります。深夜電力契約の場合は、「入」に設定すると深夜時間帯のみお湯が少なくなると沸き増しを行います。



お知らせ

- 湯切防止による沸き増し開始時は沸き増し開始を表示と音声でお知らせします。また、沸き増し中は、台所リモコンの「沸き増し」のランプが点灯します。



お湯を使う・給湯温度の確認・設定

1 給湯温度(お湯の温度)の表示を確認する

- 適温であれば 3 に進みます。

2

- 台所、洗面所、シャワーなどでお湯の温度を設定します。
- 設定は表示画面に **給湯** マークの表示があるリモコンでおこなえます。

▲ を押し、給湯温度を設定する
▼

- 温度を高くしたいときは ▲ を押します。
- 温度を低くしたいときは ▼ を押します。
- 温度表示は、下に示したように設定できます。

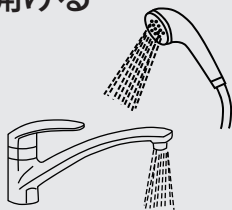
低温 35℃……48℃ 60℃
(水温) (1℃刻み)

※「浴室優先」が設定されている場合は、台所リモコンで給湯温度の設定はできません。

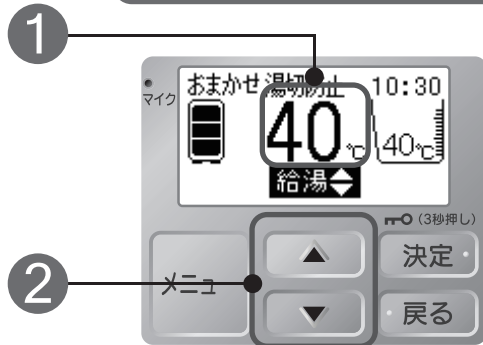
※「チャイルドロック」が設定されている場合は、ふろリモコンで給湯温度の設定はできません。

3 混合水栓(蛇口)を開ける

- 混合水栓(蛇口)を開けるとお湯がでます。
- シャワー使用时には、指先などで湯温を確かめてからご使用ください。

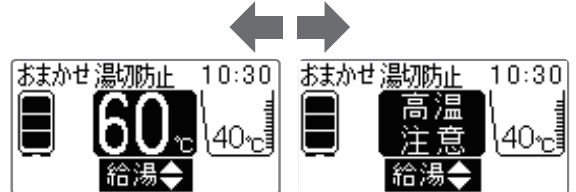


台所リモコン・ふろリモコン



60℃に設定した場合

- やけどに注意していただくため、下のような表示と音声でお知らせします。



音声 ◀ 給湯温度高温です。熱いお湯が出ます。ご注意ください。

お知らせ

- 残湯量が表示の のように消えている場合は、設定した温度のお湯が出ないことがあります。
- 水道の圧力が変動したり、ふろ湯張り中や2ヶ所以上で給湯を使用すると、湯温や湯量が変わることがあります。
- 始めのうちは、配管に残った水が出るため、お湯が出るまで少々時間が、かかる場合があります。
- 給湯温度の設定を低くする方が、給湯用熱交換器で効率よく水道水を温められます。

⚠ 注意

やけどの恐れあり

- シャワーをご使用の場合は、安全のため必ず「浴室優先」に設定してお使いください。 → P.24

浴室優先について

浴室でシャワーを使用しているときなどに、台所リモコンで給湯温度を変更すると非常に危険です。そのため、ふろリモコンに「浴室優先」を設け、台所リモコンでの温度設定をできなくする機能です。

- シャワー使用时には、指先などで湯温を確かめてからご使用ください。
- 他の人が入浴している時には、給湯温度を変えたりしないよう充分注意してください。

- お子様などだけで、シャワーをご使用の場合は、安全のため必ず「チャイルドロック」に設定してください。

チャイルドロックについて

お子さまなどが、シャワーをしているときに、誤ってふろリモコンで、給湯温度を変更すると非常に危険です。そのため、ふろリモコンでの給湯温度の設定をできなくする機能です。

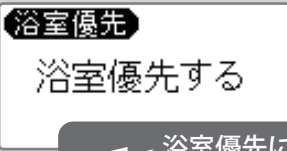
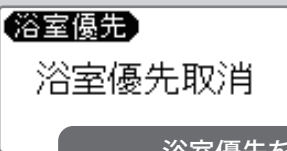
- 給湯時は、混合水栓のハンドル以外に手を触れないでください。



浴室優先とチャイルドロック設定

- ふろリモコンで「浴室優先」に設定すると、台所リモコンで給湯温度の設定を禁止することができます。
- 台所リモコンでチャイルドロックを設定すると、ふろリモコンで給湯温度の設定などの操作を禁止することができます。小さなお子様などが誤って設定を変えてしまうことを防止できます。チャイルドロック設定中でもふろリモコンで「通話」「おしえて」ボタンは使用できます。

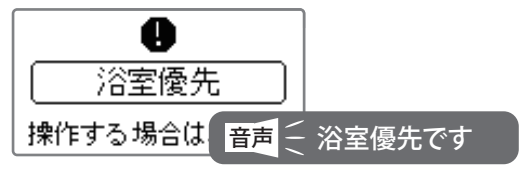
■浴室優先設定のしかた

<ul style="list-style-type: none"> ●設定するときは、ふろリモコンの 	 <p>浴室優先 浴室優先する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●画面が「浴室優先」に変わり、その後「通常画面」に戻ります。 	<p>音声 ≦ 浴室優先に設定しました</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●解除するときは、もう一度 	 <p>浴室優先 浴室優先取消</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●画面が「浴室優先取消」に変わり、その後「通常画面」に戻ります。 	<p>音声 ≦ 浴室優先を取り消しました</p>

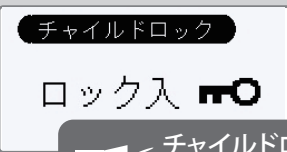
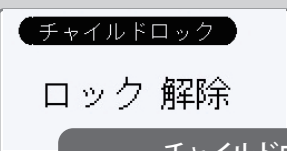


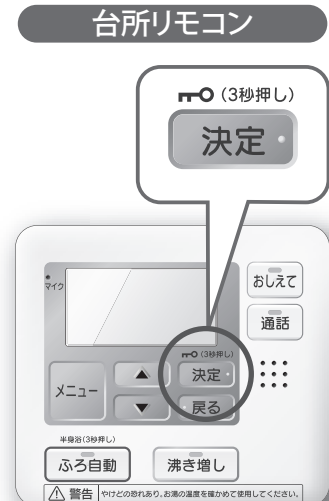
お知らせ

- ふろリモコンで、「浴室優先」の設定をすると、台所リモコンの「▲▼ボタン」を押しても給湯温度の変更ができなくなります。そのとき、右のような表示と音声でお知らせします。



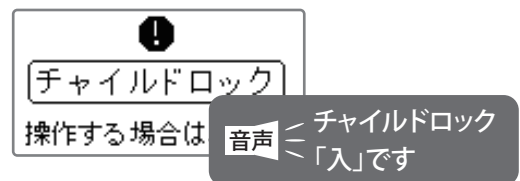
■チャイルドロック設定のしかた

<ul style="list-style-type: none"> ●設定するときは、台所リモコンの 	 <p>チャイルドロック ロック入</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●画面が「チャイルドロック」に変わり、その後「通常画面」に戻ります。 	<p>音声 ≦ チャイルドロックを設定しました</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●解除するときは、台所リモコンの 	 <p>チャイルドロック ロック解除</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●画面が「ロック解除」に変わり、その後「通常画面」に戻ります。 	<p>音声 ≦ チャイルドロックを解除しました</p>


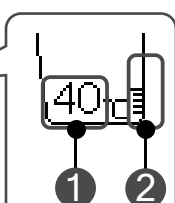
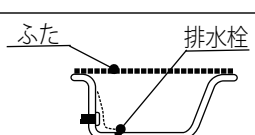



お知らせ

- 台所リモコンで、「チャイルドロック」の設定をすると、ふろリモコンの「▲▼ボタン」を押しても給湯温度の変更ができなくなります。そのとき、右のような表示と音声でお知らせします。
- 浴室優先設定中でも、チャイルドロックを設定すると、浴室優先は一時的に無効になります。



お風呂の使いかた・湯張りから入浴までの手順

		手 順	頁
準備	「ふろ設定」を確認します。	<ol style="list-style-type: none"> 湯張り温度の確認 湯張り水位の確認   <p>※はじめてお使いの時はふろ保温時間(自動で温度と水位を保つ時間)を設定します。</p>	→ P.26
	浴そうを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> ●浴そうの排水栓をし、ふたを閉じます 	
ふろ自動運転 ふろ湯張り 保温	湯張り開始	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふろ自動</div> ふろ自動ボタンを押します。湯張りを開始します。	→ P.27 → P.28
	湯張り中	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに「湯張り」が点灯 ※湯張り中は熱い湯が出ることもあるため入浴しないでください	
	湯張り完了	<ul style="list-style-type: none"> ●湯張り完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。 ※ふろの湯かげんを確認してから入浴してください	
	入浴中	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯の温度と水位を自動で保ちます お湯が冷めると…自動で追焚きをして設定温度まで温めます。 お湯が減ると……自動で足し湯をして設定水位まで湯量を増やします。 ※入浴中「ふろ自動」を継続させてください。 ※保温をするには「ふろ設定」で保温時間を設定します。	
ふろ自動運転終了	入浴の終了	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴が終わったらふろ自動運転を終了させます。(ふろ自動運転中はタンクのお湯が使われています) ※設定した保温時間が経過するとふろ自動運転は自動的に終了します。 ※冬季は凍結防止運転を行うため残り湯は残しておきます。	

■入浴中にできること(湯張り中は操作できません)

追焚き	●湯量はそのままで、温度を高くします。	→ P.29
足し湯	●設定された湯張り温度の湯を約 20 L 足し、湯量を増やします。	→ P.30
さし水	●水を約 15 L 足し、温度を下げます。	→ P.31
高温さし湯	●高温のお湯を約 20 L 足し、湯量を増やし温度を上げます。	→ P.32

お風呂の設定・温度／水位／保温時間／自動機能

■「ふろ自動運転時」の、「温度」と「水位」、「保温時間」などを設定します。

- 設定した温度、水位で湯張りをし、ふろ自動運転中（設定された保温時間の間）は自動的に設定温度、水位を保ちます。
- ふろリモコン、台所リモコンの両方で操作できますが、説明はふろリモコンの表示画面です。

温度 40℃、水位 5、保温時間 3.5 時間、自動機能 保温・水位 に設定した例です。

1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる
●表示部がメニュー画面に変わります。

2 **上** を押し、「ふろ設定」を選択する
決定 を押し、決定する

3 **上** を押し、「温度」を設定する
決定 を押し、決定する

4 **上** を押し、「水位」を設定する
決定 を押し、決定する

5 **上** を押し、「保温時間」を設定する
決定 を押し、決定する
※保温時間「0」を設定した場合、完了画面に進みます。

6 **上** を押し、「自動機能」の種類を設定する
決定 を押し、決定する
●「設定完了」画面が表示されます。
●約 10 秒後に標準画面に戻ります。
● **決定** を押し、10 秒待たずに標準画面に戻ります。

ふろリモコン・台所リモコン

1 2 3 4 5 6

●既に設定してある温度を、表示と音声でお知らせします。
●温度は、低温（水温）・35℃～48℃（1℃刻み）の範囲で設定できます。

●既に設定してある温度を、表示と音声でお知らせします。
●「01」から「12」まで設定できます。
●水位「01」は「ふろ循環アダプター」上端より約 5cm 上になります。
●「02」「03」・・・と数が増えると約 3cm ずつ水位が上がります。

●0.5 時間（30分）単位で最大 6 時間まで設定できます。

ご注意

●設定した湯張り温度は、配管の長さ・保温状態や浴そうの放熱により若干変動します。湯張り後の温度が低い場合は、次回から湯張り温度を高くしてください。

●湯張り水位は、浴そうの形状によって異なる場合があります。最初の数回は、ご家庭の浴そうに合わせて設定してください。

ふろ自動運転のしかた (ふろの湯張り)

- 台所リモコン、ふろリモコンの両方で操作できます。
- 「ふろ自動」ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した温度、水位で湯張りをを行います。
- 「保温時間」「自動機能」が設定してあれば、湯張り終了後に設定された時間まで、保温 (自動追焚き) と、自動足し湯を行います。

台所リモコン

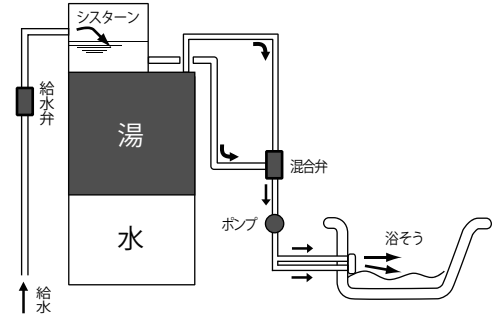


ふろリモコン



湯張りのしくみ (湯張りは、タンクのお湯を使います)

- 「ふろ自動」ボタンを押して湯張りを開始すると、タンク内の熱い湯とシスターンの水を混合弁で湯張り温度になるように混ぜて、ポンプで浴そうにお湯を送ります。



- ・湯張り中は、シスターンへの給水音やポンプの音がします。
- ・給水圧力が高い場合、湯張り中に給水弁の開閉音がある場合があります。
- ・湯張り開始時にシスターン内の水質の安定を図るため給水します。このとき、オーバーフロー排水管から水が出る場合があります。

おふろの準備

浴そうの排水栓を閉じてふたをする。

- 残り湯からも湯張りができます。

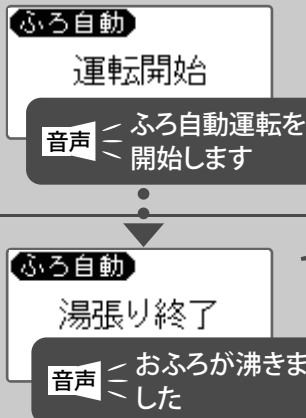
湯張り開始

「ふろ自動」 を押す。

- ふろ自動運転を開始します

湯張り終了

- 設定した湯張り温度、湯張り水位になるとふろ湯張りを停止します。



- 湯張りが終了すると、表示と音声でお知らせします。

お知らせ

湯張り中に中断や停止があったり、湯張り時間が長くなる場合がありますが、異常ではありません。

- 湯張り中は、湯張りの温度や水位を確認するために中断します。
- 湯張り中に、シャワーや台所などでお湯を使うと、湯張り時間が長くなる場合があります。
- タンク内の温度が低い場合、残湯量があっても湯張りができないことがあります。沸き増しをしてください。そのときは音声でお知らせします。

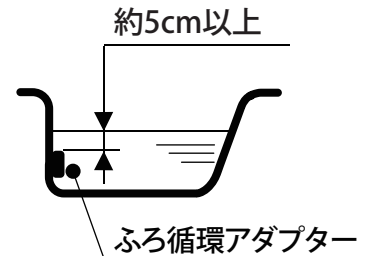
音声 ≪ ふろ自動運転を中止します

お知らせ 残り湯からの湯張りについて

- 「湯切防止」設定中に、残り湯から「ふろ自動」や「追焚き」を開始すると、残湯量が充分あってもタンクの沸き上げを開始することがあります。
- 冬季、前日の残り湯からの沸かし直しは、タンクのお湯をたくさん使う（湯温が下がる）ので湯切れの原因になる場合があります。残り湯を完全に抜いて湯張りをしてください。
- 残り湯の水位が循環アダプターの上端位置付近にある場合は、正常に湯張りが動作しないことがあります。このような場合は、お湯を少し抜いてください。

お願い 凍結防止について → P.42

- 冬季は、凍結防止のため残り湯をふろ循環アダプター上端より5cm以上残しておいてください。外気の温度が下がると、ふろ配管に浴そうの湯を自動で循環させて凍結を防止します。

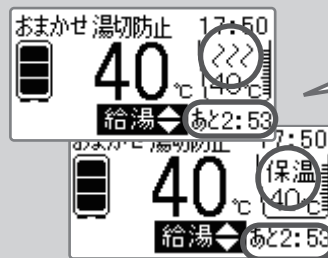


お知らせ

- 凍結防止運転が動作している場合、ふろ自動運転終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターから、冷めた湯が出てくる場合があります。入浴時は、「ふろ自動運転」を再度行ってください。

保温・足し湯

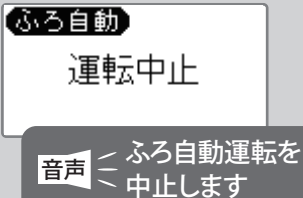
- 「保温時間」「自動機能」が設定してあれば、湯張り終了後に設定された時間まで、保温（自動追焚き）と、自動足し湯を行います。



- 自動運転中は、残り時間を表示でお知らせします。運転状態は「??」マークと保温マークを交互に表示してお知らせします。「??」マークは湯張りが終了したことを表し、湯張り終了から2時間点灯します。
※お買い上げ時の設定は0時間です。ふろ湯張り後、自動で保温・足し湯は行いません。

途中でとめたいとき

ふろ自動 を押す。



お願い

- 「ふろ自動」運転中は、お風呂の温度が下がると、自動で「追焚き」をします。ふろ保温時間を短めに設定するとともに、お風呂を使い終わった後は、「ふろ自動」運転を解除してください。

警告



湯張り中に入浴しない

- 高温の湯が出て、やけどをすることがあります。



入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

- 「ふろ自動」「追焚き」「高温さし湯」の時に高温の湯が出て、やけどすることがあります。



入浴中にできること・追焚き／足し湯

■お風呂に入っているときに、ふろリモコンでできること

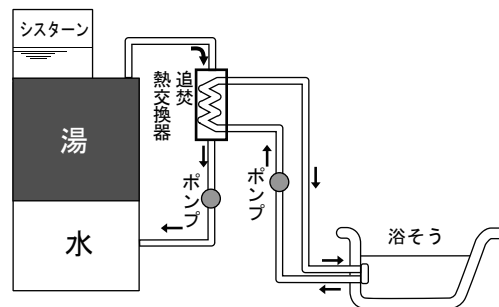
ふろリモコン



追焚きのしくみ (追焚きは、タンクのお湯の熱を利用します)

●「ふろ自動」運転中や、ふろリモコンの「追焚き」ボタンを押して追焚きを開始すると、冷めたお風呂のお湯をポンプで「追焚熱交換器」へ送り、タンク上部からの熱いお湯で温めます。

※「追焚き」をすると、タンクのお湯は熱を奪われて温度が下がるため、残湯量が少なくなり使用できるお湯の量が少なくなります。



追焚きをする

湯量はそのままで、あついお風呂に入りたい時、冷めたお風呂を温め直したい時に使用します。

追焚き を押す。

●運転を開始します。

追焚き
追焚き開始

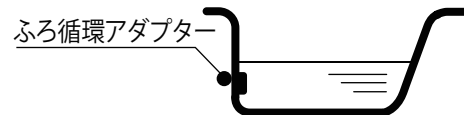
追焚きを開始します。
音声 熱いお湯がでます。ご注意ください

●右の状態になると、
●運転を自動停止します。

追焚き
追焚き終了

音声 追焚きを終了しました

●追焚きには、ふろ循環アダプター上端以上の水位が必要です。



●湯温が、ふろ湯張り設定温度より低い場合、設定温度まで追焚きして自動停止します。

●湯温が、ふろ湯張り設定温度以上の場合、約2℃湯温が上昇するよう追焚きして、自動停止します。

お知らせ

●タンク内の温度が低い場合、残湯量の表示があっても、追焚きができなかったり、途中で追焚きを停止することがあります。
追焚きを多く使用される場合は「湯切防止」の設定をおすすめします。

途中でとめたいとき

追焚き を押す。

追焚き
追焚き中止

音声 追焚きを中止します

上手にお使いいただくためのポイント

■長時間の追焚きは控えめに

- 特に冬季、前日の残り湯の沸かし直しは、タンクのお湯をたくさん使うので湯切れしやすくなります。湯張り温度と残り湯の温度差が大きい場合は、浴そうの湯を完全に抜いて湯張りをしてください。

■ふろ保温時間の設定は短めに

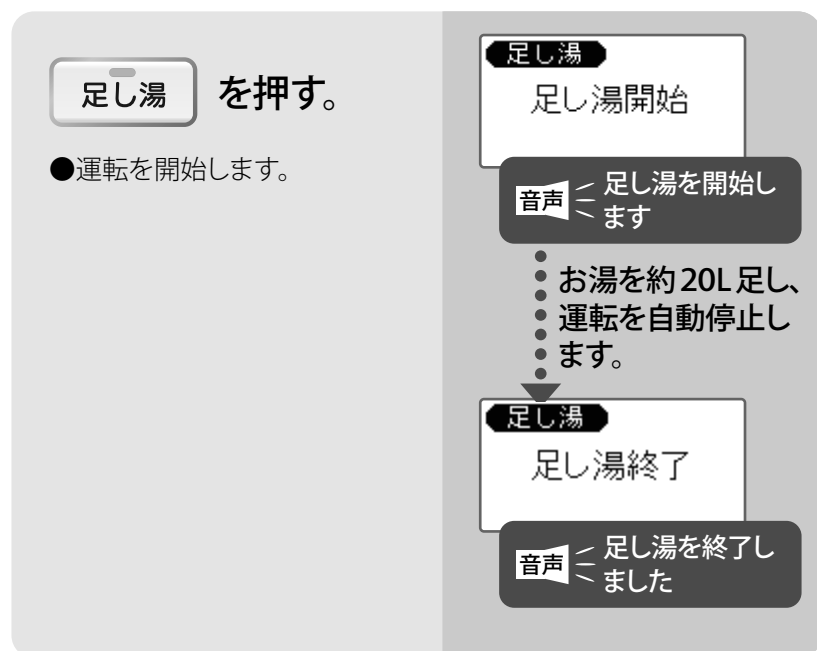
- ふろ自動運転中は、おふろの温度が下がると自動で追焚きをします。ふろ保温時間は短めに設定するとともに、おふろを使い終わった後は、ふろ自動運転を解除してください。

■追焚きをするときのタンク設定は

- 「追焚き」するときには、タンクの中に、約 60℃以上の熱いお湯がないと、リモコンの残湯量の表示が点灯していても追焚きに時間がかかったり、追焚きできないことがあります。追焚きをするときのタンク設定は「おまかせ」、「標準」をおすすめします。
(リモコンの残湯量表示は、約 45℃以上のお湯の量を表示します)

■足し湯をする

お湯の量を増やしたいときに使用します。湯張り温度のお湯を約 20L 足します



途中でとめたいとき



お知らせ

- 「追焚き」「足し湯」「高温さし湯」動作開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。また、「さし水」動作開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。
- ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。
- 「足し湯」動作開始時にシスターン内の水質の安定を図るため給水します。このとき、オーバーフロー排水管から水が出る場合があります。

警告

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

やけど注意

- 「追焚き」「足し湯」「高温さし湯」動作中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。また、「さし水」動作中は冷たい水がでます。



入浴中にできること 次ページに つづく ⇒

入浴中にできること(続き)・さし水

■お風呂に入っているときに、ふろリモコンでできること

ふろリモコン



お知らせ

- 「高温さし湯」動作開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。また、「さし水」動作開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。
- シャワーや台所などでお湯を使用している時に、「さし水」「高温さし湯」を行うと、シャワーや台所のお湯の湯温や湯量に変動することがあります。
- タンクのお湯の温度が低い場合、「高温さし湯」が途中で停止したり、設定より低い温度になることがあります。
- ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。
- 「さし水」動作開始時にシスターン内の水質の安定を図るため給水します。このとき、オーバーフロー排水管から水が出る場合があります。

■さし水をする

お風呂の温度を下げたいときに使用します。約15Lの水をお風呂に足します。

さし水 を押す。

- 運転を開始します。

さし水
さし水開始

音声 さし水を開始します

- 約15Lの水をお風呂に足して、運転を自動停止します。

さし水
さし水終了

音声 さし水を終了しました

途中でとめたいとき

さし水 を押す。

さし水
さし水中止

音声 さし水を中止します

高温さし湯

■高温さし湯をする

高温のお湯を足してお風呂の温度を上げます。約60℃のお湯を約20L足します。

ふろリモコン



1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる

2 **▲** を押し、「高温さし湯」を選択する
▼ を押し、「決定」を選択する
決定 を押し、決定する

3 **▲** を押し、「する」を選択する
▼ を押し、「決定」を選択する
決定 を押し、決定する

● 運転を開始します。
※「しない」を選択→決定すると「通常画面」に戻ります。

音声 高温さし湯を実行できます

音声 高温さし湯をしますか

音声 高温さし湯を開始します。熱いお湯がでます。ご注意ください

高温さし湯 1/2

しない する

高温さし湯 2/2

高温さし湯開始

高温さし湯を停止する場合は

- 約30秒間、上のような表示をします。
- 約60℃のお湯を約20L足して、運転を自動停止します。

高温さし湯 2/2

高温さし湯終了

音声 高温さし湯を終了しました

途中でとめたいとき

さし水 を続けて2回押す。

警告

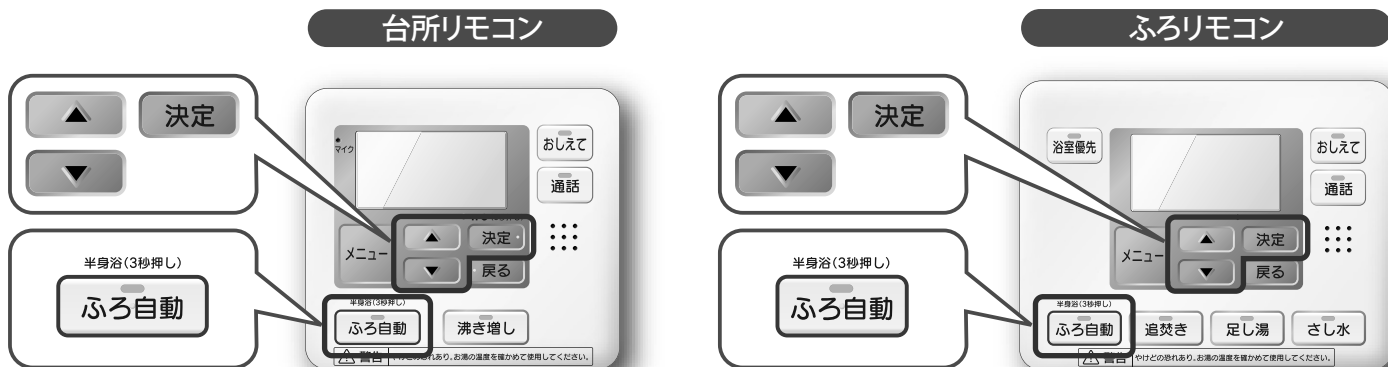
入浴時は、ふろ循環アダプター
やけど注意 **から離れる**

- 「高温さし湯」動作中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。また、「さし水」動作中は冷たい水がでます。

ふろ循環アダプター

半身浴をする

●半身浴モードは、自動で低温のお湯を少なめに湯張りします。湯張り時の水位は一定で、ふろ循環アダプターの上端から約5cm上をめやすに湯張りをします。湯張り後3時間、追焚きをして保温を行います。



※下記は、温度 40℃に設定した例です。

おふろの準備

浴そうの湯をすべて抜いて、排水栓を閉じてふたをする。

※残り湯からの半身浴湯張りはできません。

湯張り温度の設定

半身浴(3秒押し)

ふろ自動

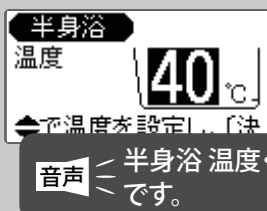
を画面が変わるまで押しつづける。

▲

を押し、「温度」

▼

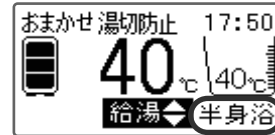
を設定する。



音声 半身浴 温度...です。

- 既に設定してある温度を、表示と音声でお知らせします。※お買い上げ時は38℃に設定されています。
- 温度は、38℃～41℃の範囲で設定できます。

- 湯張り中は表示でお知らせします。



- 湯張りの終了は、音声と表示でお知らせします。

- <<<<表示は、湯張り終了から2時間点灯します。



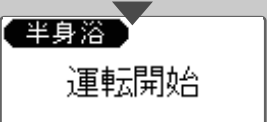
お知らせ

- 半身浴の湯張り予約はできません。
- 半身浴運転中は、ふろリモコン・台所リモコンの「ふろ自動」ボタンは、操作できません。
- 「半身浴」動作開始時にシステム内の水質の安定を図るため給水します。このとき、オーバーフロー排水管から水が出る場合があります。

湯張り開始

決定 を押す。

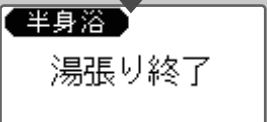
- 半身浴の湯張りを開始します。



音声 半身浴 運転を開始します

湯張り終了

- 湯張り後、3時間自動保温します。



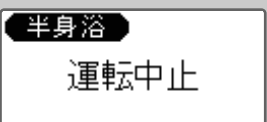
音声 おふろが沸きました

途中でとめたいとき

半身浴(3秒押し)

ふろ自動

を画面が変わるまで押しつづける。

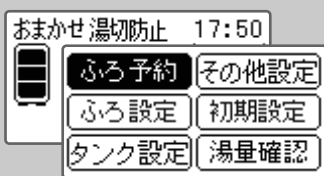


音声 半身浴 運転を中止します

ふろ予約をする

- 湯張りを完了させたい時刻を設定します。予約を設定すると予約した時刻に湯張りが完了し、お風呂に入れます。
 - ふろ予約は、予約が実行されると解除されます。ご使用のつど設定してください。
 - 台所リモコン、ふろリモコンの両方で操作できます。説明は、台所リモコンの表示画面です。
- ※下記は、18:30 に設定した例です。

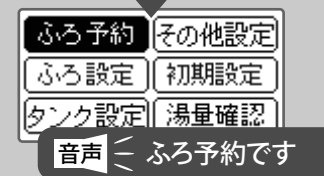
1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる



2 **▲** を押し、「ふろ予約」を選択する

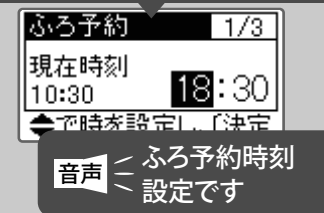
決定 を押し、決定する

※時刻設定画面が表示されます。手順 **3** へ進みます。
 ※既に予約中の場合は、**予約中の場合は** に進みます。



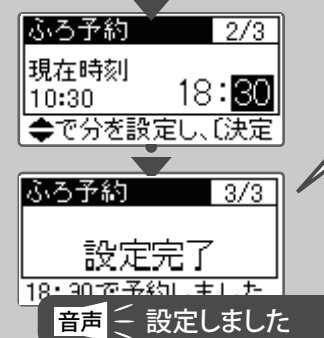
3 **▲** を押し、「時」を設定する

決定 を押し、決定する

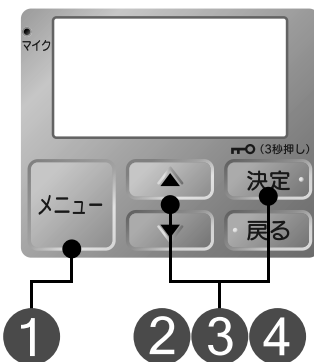


4 **▲** を押し、「分」を設定する

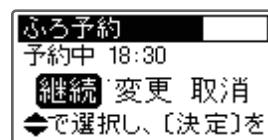
決定 を押し、決定する



ふろリモコン・台所リモコン



●既に予約中の場合は、予約内容が表示されます。



●予約後、予約が点灯します。



お願い

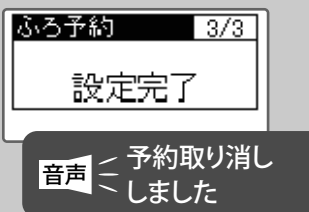
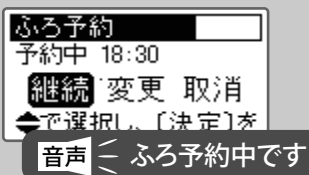
●予約する時刻は、現在時刻の1時間以上後の時刻(現在時刻 16時00分の場合 → 17時00分以降の時刻)に設定してください。

ご注意

- 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に、お風呂の湯張りが完了しません。
- 水圧の変動などで、お風呂の湯張りが完了時刻が、予約した時刻とずれる場合があります。
- が点灯中に予約を設定した場合、予約設定は完了していますが、予約は が消灯したあとに点灯します。

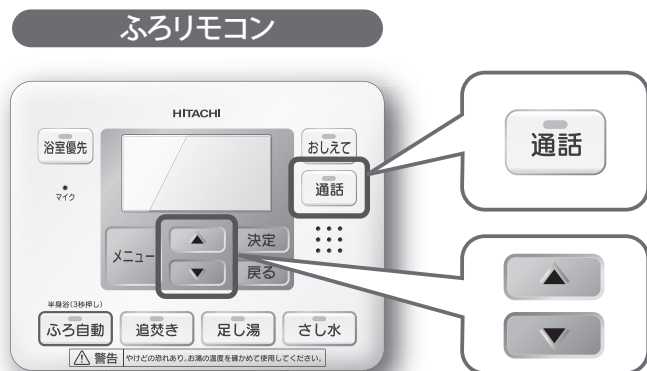
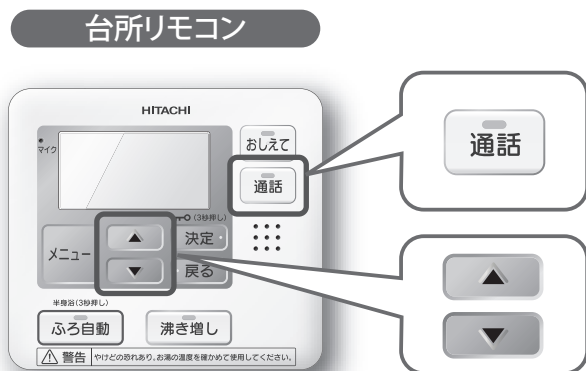
予約中の場合は

- 設定済みの予約時間とメニューが表示されます。確認後、「▲▼」ボタンで項目を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 「継続」を選択した場合は、設定完了画面を約10秒表示し、標準画面に戻ります。
- 「変更」を選択した場合は、手順 **3** へ進みます。
- 「取消」を選択した場合は、右図の画面を約10秒表示し、標準画面に戻ります。



インターホンを使う

- ふろリモコンと台所リモコンの間で会話ができます。
- ふろリモコン、台所リモコンのどちらからも呼び出せます。



1 「通話」を押す。

- ピッピッピッと呼び出し音になり、呼び出し側、相手側リモコンの「通話」ボタンのランプが点灯します。

2 ●通話モードになり、ふろリモコンと台所リモコンの間で、お話しができます。

台所リモコン

- 「通話」ボタンを押さずに、リモコンに向かってそのまま、お話しください。(ハンズフリー機能)

ふろリモコン

- 「通話」ボタンを押しながらリモコンに向かってお話しください。

ご注意

- ふろリモコン側で、お話しが始まると台所リモコンから話かけることはできません。

ご注意

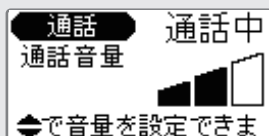
- ふろリモコンと台所リモコンで同時に話すことはできません。台所リモコン側は、ふろリモコン側の話しが終わってから、話してください。(ふろリモコンの「通話」ボタンが押されている間は、ふろリモコンが優先になります。)
- 会話の最初は、音が途切れる場合があります。
- 通話中にハウリング(キーンという音)がする場合は、インターホンの音量を下げてください。
- 雑音の大きい場所では、通話ができない場合があります。シャワーを止める、テレビの音量を下げるなどしてから通話を行ってください。

通話中に音量を変えたいときは……

- 通話中に「▲▼」ボタンを押すと音量を変更できます。相手の声が大きい時や聞きにくい時に調整してください。

1 ▲▼を押す。

- 操作しているリモコン側の表示部が変わります

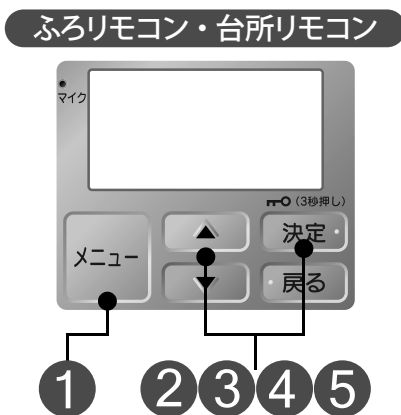


2 ▲を押すと、小→標準→大の順に変化します。

- ▼を押すと、大→標準→小の順に変化します。

音声ガイドモード・音量を設定する

- 台所リモコン、ふろリモコンの音声ガイドのモードやインターホン通話・音声ガイドの音量を設定します。
- 台所リモコン、ふろリモコンで別々に設定できます。説明は、ふろリモコンの表示画面です。



※下記は、音声ガイド、しんせつ、ガイド・ブザー音量、標準、通話音量、標準に設定した例です。

<p>1 メニュー を押し、メニュー画面を表示させる</p> <p>●メニュー画面が表示されます。</p>		<p>●設定するリモコンにより、メニューの表示内容と設定項目の種類が異なります。本説明は、ふろリモコンの画面で説明しています。</p>
<p>2 ▲ を押し、「その他設定」 ▼ を選択する</p> <p>決定 を押し、決定する</p>	<p>音声 < その他設定です</p>	<p>■しんせつ すべての操作について、操作内容を音声でお知らせします。</p> <p>■標準 主な操作をしたときに、操作内容を音声でお知らせします。</p>
<p>3 ▲ を押し、希望のモード ▼ を選択する</p> <p>決定 を押し、決定する</p>	<p>音声 < 音声……です</p>	<p>■切 操作時は、ブザー（ボタンの操作音）のみで操作したことをお知らせします。</p>
<p>4 ▲ を押し、「音声ガイド・ブザー音量」を設定する</p> <p>決定 を押し、決定する</p>	<p>音声 < 音量……です</p>	<p>●音量は、「小」・「標準」・「大」・「切」の4種類があります。「切」に設定すると、音声ガイド、ブザー（ボタンの操作音）の音量が聞こえなくなります。</p>
<p>5 ▲ を押し、「通話音量」を設定する</p> <p>決定 を押し、決定する</p> <p>●設定完了のメッセージが表示され、約10秒後に通常画面に戻ります。</p>	<p>音声 < 通話音量…です</p> <p>音声 < 設定しました</p>	<p>●通話音量は、「小」・「標準」・「大」の3種類があります。</p> <p>●台所リモコンで設定した場合は、次にタンク休止の設定画面になります。ここでは「しない」を選択し、「決定」を押してください。</p>

お湯が不足しそうなとき (沸き増しをする)

- 急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「沸き増し」を設定すると**設定したその日はお湯が減ってきたらそのつどお湯を沸き上げてお湯が足りなくなるのを防ぎます。**
昼間時間帯の沸き増しは、電気料金が割高になります。
- ふろリモコン、台所リモコンのどちらからも行えます。

沸き増しとは (タンク内をお湯にします)

●「沸き増し」を設定すると、たくさんのお湯を使用しても不足ないように、タンク内をお湯にします。

【全量】

【少量】

タンク

タンク

タンク

タンク



台所リモコンで沸き増しをする

沸き増し を押して希望の量を選択する。

- **沸き増し** ボタンを押すたびに表示部が切り替わります。
- 選択後 2 秒間放置すると設定完了となり、標準画面になります。

沸増し

沸増し少量

沸増し全量

沸増し切

音声 沸き増し ●● に設定しました

おまかせ 湯切防止 17:50

少 40°C 40°C

おまかせ 湯切防止 17:50

全 40°C 40°C

沸上げ 給湯

ご注意

- 電力契約が深夜電力の場合、「全量」は選択できません。電力契約が時間帯別電灯型の場合でも、Aゾーン開始2時間前からAゾーンの間は「全量」は選択できません。
- 電力契約が時間帯別電灯型でAゾーン開始2時間前に「全量」で沸き増ししている場合、Aゾーン開始時に「少量」に切り替わります。

→ P.19

お知らせ

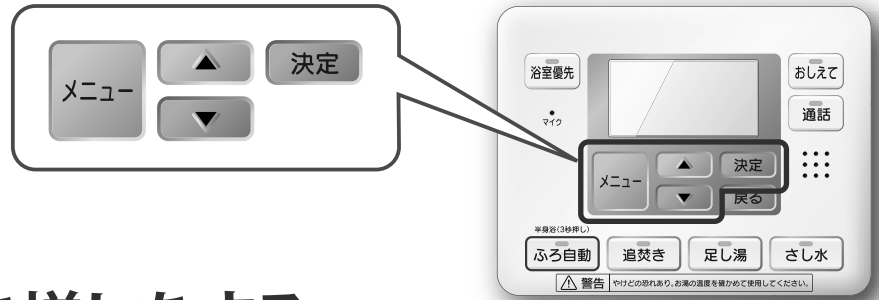
- タンク内に充分お湯がある時は、「沸き増し」を設定しても、すぐに「沸き増し」を開始しない場合があります。

途中でとめたいとき

沸き増し を押して「沸増し切」を選択する。

沸増し切

音声 沸き増し切 に設定しました



ふるリモコンで沸き増しをする

1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる
 ●メニュー画面が表示されます。

2 **▲** を押し、「沸増し」を選択する
▼ を押し、「沸増し」を選択する
決定 を押し、決定する

3 **▲** を押し、沸き上げる量を選択する
▼ を押し、「沸増し」を選択する
決定 を押し、決定する
 ●約 2 秒後標準画面に戻ります。

途中でとめたいとき

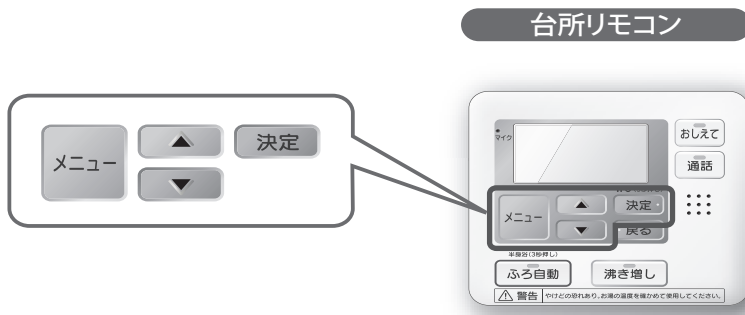
1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる
 ●メニュー画面が表示されます。

2 **▲** を押し、「沸増し」を選択する
▼ を押し、「沸増し」を選択する
決定 を押し、決定する

3 **▲** を押し、「切」を選択する
▼ を押し、「切」を選択する
決定 を押し、決定する
 ●約 2 秒後標準画面に戻ります。

使えるお湯の量を知りたいとき (42℃換算)

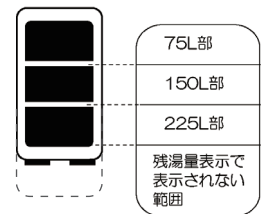
●タンク内の残りの湯温をもとに42℃のお湯として、あと何L使用できるかをみることができます。



お知らせ

- 残湯量 (本日) の表示量は、タンク 225L 部までの湯量を混合水栓で 42℃で給湯した場合に使用できる湯量の目安を示します。沸き上げ直後では、約 400L 以上を表示します。
(季節により、数値は変化します。残湯量が 1000L 以上の場合は、999L と表示します。)
- タンクの温度センサの値を用いているため、ふろの追焚きや、タンクの放熱でタンクの温度が低下すると、混合水栓などでお湯を使用していなくても残湯量が変わります。

残湯量表示 貯湯タンク内のイメージ



- 1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる
- 2 **▲** を押し、「湯量確認」を選択する
▼ を押し、**決定** を押す。
●残湯量 (本日) が表示されます。

メニュー を押し、標準画面に戻ります。

過去の使用パターンを知りたいとき

●過去 1 週間の使用パターンを見ることが出来ます。

- 1 **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる
- 2 **▲** を押し、「湯量確認」を選択する
▼ を押し、**決定** を押す。
●残湯量 (本日分) が表示されます。
決定 をもう1度押す。
●使用湯量 (週間) が表示されます。

メニュー を押し、標準画面に戻ります。

お知らせ

- タンクの全量を 90℃で沸き上げた場合に使用できる湯量を 100%としています。
- ふろの追焚きやタンクの放熱は、混合水栓などでお湯を使用していませんが、タンクの温度が低下するため使用量として加味しています。

数日間お湯を使わないとき

●旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの沸き上げを休止することができます。

●タンク休止日数は1日～15日まで設定できます。

※10月20日から10月30日の間のタンク休止の例です。この設定をすると、10月20日～10月29日は沸き上げを行わず、10月30日の深夜時間帯に沸き上げを行います。10月31日からお湯が使用できます。

- 1** **メニュー** を押し、メニュー画面を表示させる

●メニュー画面が表示されます。
- 2** **▲** を押し、「その他設定」を選択する

▼ を押し、「タンク休止」画面を表示させる

決定 を4回押し、「タンク休止」画面を表示させる

※「音声ガイド」の設定から「通話音量」設定までを省略します。）
- 3** **▲** を押し、「する」を選択する

▼ を押し、「しない」を選択する

決定 を押し、決定する
- 4** **▲** を押し、「開始日」を設定する

▼ を押し、「終了日」を設定する

決定 を押し、決定する
- 5** **▲** を押し、「終了日」を設定する

▼ を押し、「終了日」を設定する

決定 を押し、決定する

●「休止設定確認」画面が表示されます。

確認し、**決定** を押し。

●設定完了のメッセージが表示され、「タンク休止中」画面が表示されます。

台所リモコン



●既に「タンク休止」設定がされている場合は、手順**1** **2**の後、**タンク休止設定済の場合**に進みます。

タンク休止設定済の場合

- 1** 設定済みのタンク休止期間が表示されます。確認後、「▲▼」ボタンで項目を選択します。

 - 「継続」：休止設定を継続します。
 - 「変更」：休止設定を変更できます。

3 の「タンク休止設定」から行ってください。

※既にタンク休止期間中の場合、「変更」はできません。一度「取消」を行ってから再度設定してください。

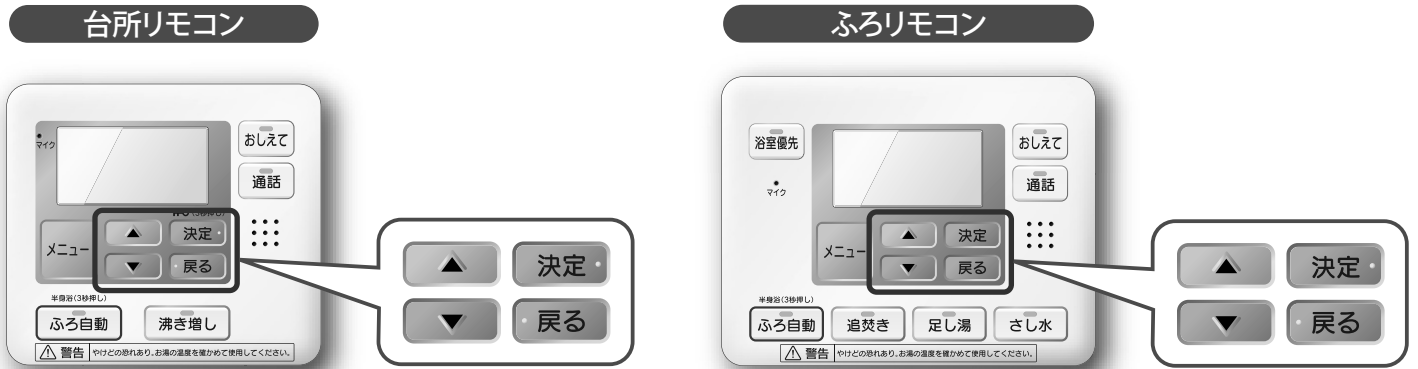
 - 「取消」：休止を取り消します。
 - 2** 確認し「決定」ボタンを押します。
-

ご注意

●冬季、凍結のおそれがある場合は、タンク休止の設定はしないでください。また、浴そうのお湯は残しておいてください。

画面が見にくいとき (コントラスト設定)

- リモコンの画面は、見やすいようにコントラストを調整してありますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラスト設定してください。
- 台所リモコン、ふろリモコン画面それぞれ調整できますので、リモコンの画面を見ながら調整してください。



1 **戻る** を3秒長押し、「コントラスト調整画面」を表示させる

2 **▲** を押し、**▼** を押し、調整する

- 調整がおわったら、**決定** を押し、決定する
- 標準画面に戻ります。

おまかせ 湯切防止 17:50
40℃
給湯

コントラスト
◆でコントラストを

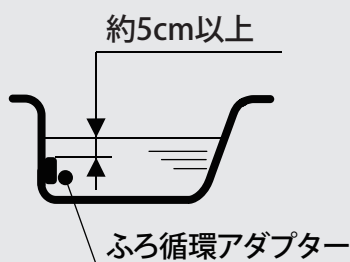
▲ を押しと暗くなります。
▼ を押しと明るくなります。

凍結防止について（外気温が低いとき）

- 各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店、工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

おふろの湯はぬかないでおく

冬季は、凍結防止自動運転のため、残り湯をふろ循環アダプターより5cm以上残しておいてください。循環ポンプを運転しますので運転音がします。



- 外気温度が下がると、ふろ配管に浴そうの湯を自動で循環させて凍結を防止します。
- 凍結防止運転中はリモコンに「凍結防止」を表示します。



ご注意

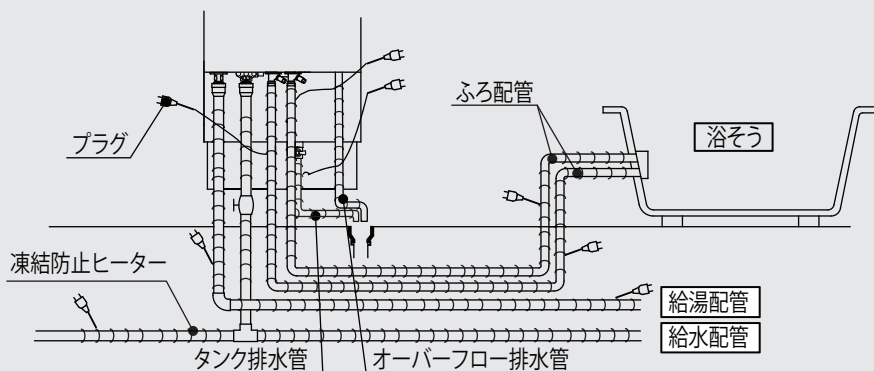
- 浴そうに残り湯がない場合、循環ポンプは運転しますが、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。また、この場合、ふろ配管内の水が浴そうに排出され、浴室でゴボゴボ音がします。
- ふろ自動運転終了後に入浴すると、凍結防止運転時にふろ循環アダプターから冷めた湯が出てくる場合があります。入浴時は、「ふろ自動運転」を行ってください。

混合水栓を少し開いておく

- 1 給湯温度を「低温」に設定します。
- 2 混合水栓の温度調節は、水とお湯の両方が出るように、水とお湯の中間位置にしてください。
- 3 流量を調節します。
各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

凍結防止ヒーターを使う

- 1 凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。
- 2 使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。



お願い

- 配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- 凍結しない季節になったら、プラグをコンセントから抜いてください。

長期間お湯を使用しないとき(タンクの排水のしかた)

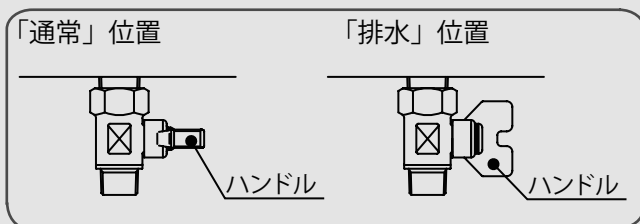
- 1か月以上使用しないときは、運転を止め機器および配管の水を抜いてください。
- ふたたび使用するときには、お買い上げの販売店、または工事店に温水器への給水を依頼してください。(有償になります。)

1 混合水栓を開く

- ぬるい水が出てくるまで開いておきます。タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 温水器のお湯を排水する

- 1 漏電遮断器の電源スイッチ(2か所)を「切」にする。
- 2 タンク専用止水栓を閉じる
 - 温水器への給水を止めます。
- 3 脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーのねじ(4本)を外し、脚カバーを外してください。
- 4 タンク排水栓のハンドルを手前へ90°回します。



温水器の水を排水します。排水口から水があふれないようタンク排水栓の開き具合を調節してください。
※排水は約30分～1時間かかります。

- 5 温水器の「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ふろ行き側水抜き栓」、「ふろ戻り側水抜き栓」を開きます。

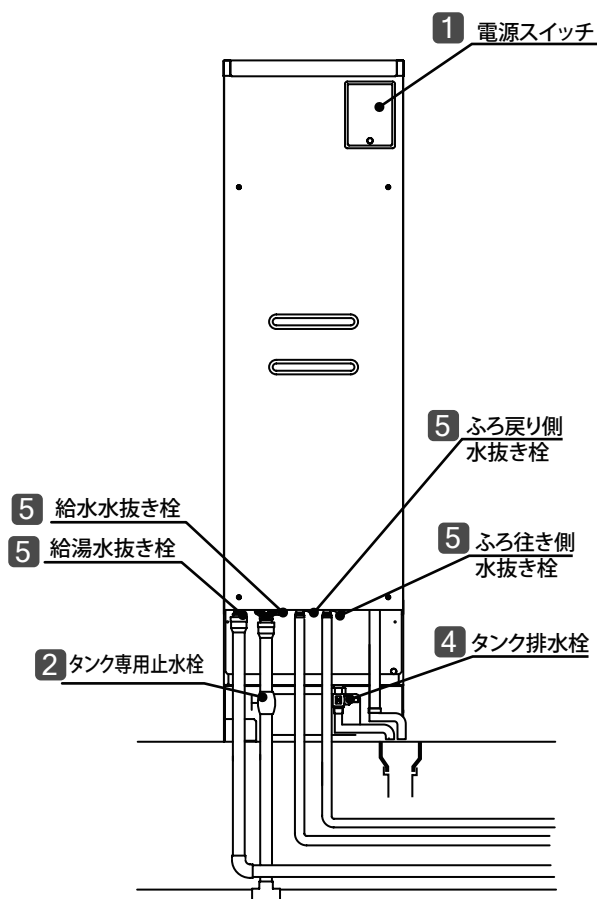
3 排水栓、水抜き栓を閉じる

- 排水栓および全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

- 1 温水器の「タンク排水栓」を奥側へ90°回します。各「水抜き栓」を閉じます。

※脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーを元通り取り付けてください。

2 温水器



お願い

- 水抜き終了後、「排水栓」、各「水抜き栓」が閉まっていることを確認してください。
- 凍結するおそれの高い地域の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。
- 前日から準備できる場合、タンク休止設定を行ってください。むだな沸き上げをおこないません。

→ P.40



警告



やけどのおそれあり。

- 高温の湯を排水することがあります。

やけど注意

非常用水として使用するとき

- 万一、災害の時は、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
- 飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器の電源スイッチ (2 か所) を切る。

2 タンク専用止水栓を閉じる。

- タンクへの給水を止めます。

3 脚カバーを外す。

※脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーのねじ (2 本) を外し、脚カバーを外してください。

4 前カバーを外す。

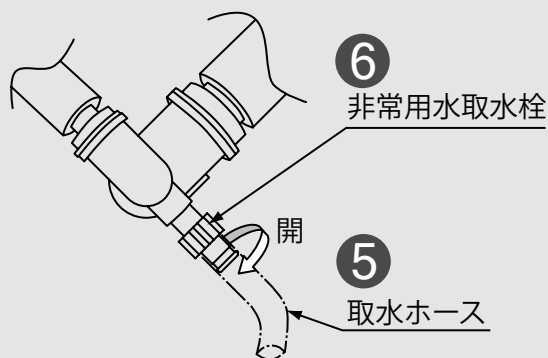
- ねじ (2 本) を緩めて前カバーを外します。

5 取水ホースを取り付ける。

- 取水ホースを取り付けます。
排水ホースは内径 8 mm のものをご用意ください。

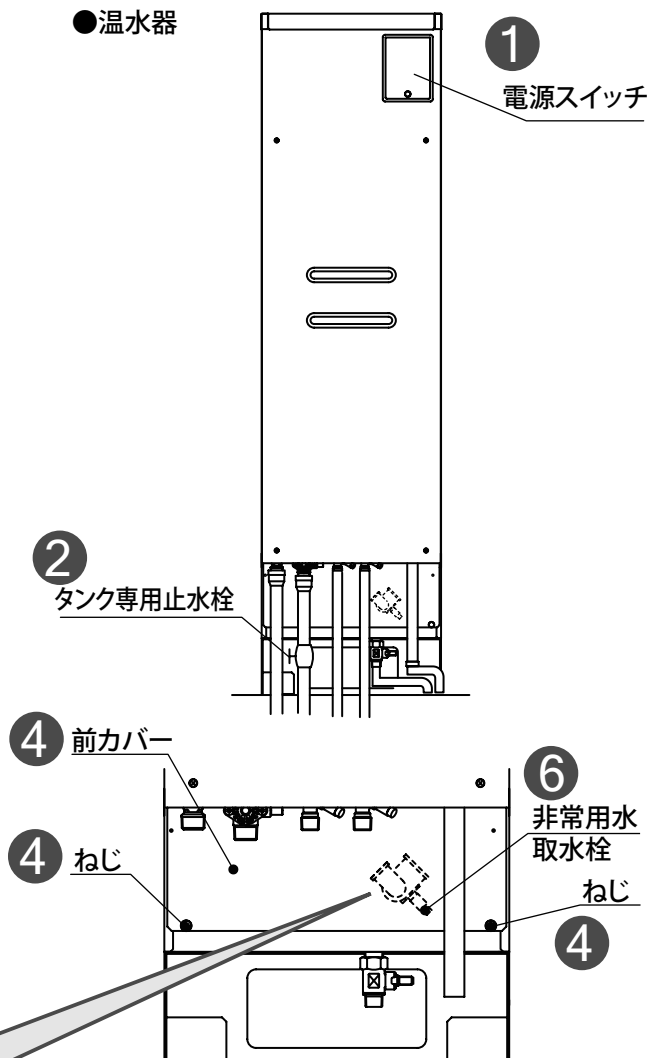
6 タンク内のお湯 (水) を出す。

- 1** 非常用取出栓を手前に回してゆるめると、ホースからお湯 (水) が出ます。



- 2** 止めるときは非常用取出栓を奥側に回して、閉めてください。

●温水器



お願い



- ホースからは、お湯 (水) が出てきますが、使いはじめは、湯あかなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「非常用水取水栓」を閉めていることを確認してください。
- 再び温水器として使用するときは、お買い上げの販売店、または工事店に温水器への給水を依頼してください。(有償です。)

警告

- !** 取水中、熱湯 (最高 90°C) が出ることがあります。
やけど注意
- 非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

- 停電復帰時、時刻がずれたり各リモコンの設定が変更されている場合がありますので、各リモコンの設定を確認してください。
- 停電中は、「給湯」、「ふろ機能」とも使用できません。
- 深夜時間帯に再通電した場合は、契約されている電力契約により動作が異なります。 **→ P.19**
 時間帯別契約の場合 : すぐにヒーターに通電し沸き上げを開始します。
 深夜電力契約の場合 : ピークシフトによる沸き上げを開始します。
- 停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。ご使用の状態に合わせて再設定してください。

リモコン	項目	リモコン設定値
台所リモコン 	時刻	時刻がずれている場合があります。 → P.17
	チャイルドロック	解除されている場合があります。 → P.24
	その他	停電になっても設定値は記憶されています。
ふろリモコン 	停電になっても設定値は記憶されています。	

お願い

停電復帰時は、必ず「台所リモコン」の時刻を確認してください。

- 時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、初期設定機能で時刻合わせをしてください。

お知らせ

- ふろ湯張り中に停電した場合、停電が復帰しても湯張りは再開しません。湯張りをしたい場合は「ふろ自動」を再度押してください。

断水のとき

- 断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。閉じるとタンク内に給水されないためお湯はできません。
- 断水復帰後、水側の蛇口を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。

ご注意

- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、濁った水で温水器のストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、タンクに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯がでなかったり、湯温が安定しない場合があります。この場合、給湯用ポンプの空気抜きが必要ですので、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。(有償です。)

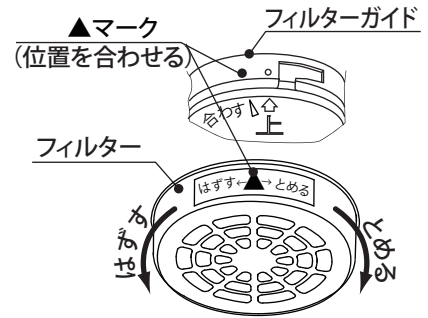
お手入れと点検

日常のお手入れ

■ふろ循環アダプターの掃除

●浴そうのふろ循環アダプターが汚れていると、湯張りなどのふろ機能が正常に動作しなかったり、汚れが浴そう内に流れ出したりすることがあります。こまめに掃除してください。

- 1 浴そうのお湯を排水した後、「ふろ循環アダプター」のフィルターを外してください。
- 2 歯ブラシなどを使用して水洗いしてください。
- 3 元通り取り付けてください。
 - 取り付け時は、フィルターガイドの「△」のマークにフィルターの「△」を合わせてはめ込み右に止まるまでまわしてください。
 - ※フィルターは無理にはめ込まないでください。



■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、水に濡らした布を固く絞って拭いてください。

- 汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は・・・

- 「ふろ用洗剤」「弱アルカリ性の台所洗剤」「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください

月に1度のお手入れと点検

■時刻の確認

月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。

- リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

→ P.17

■漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

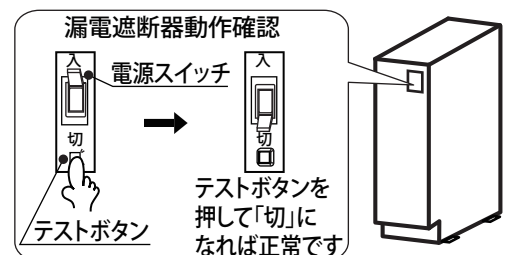
- 1 テストボタンを押す。
 - 電源スイッチが「入」→「切」になれば正常です。
- 2 電源スイッチを「入」に戻します。

お願い テストボタンを押しても「切」にならない場合は、「電源ブレーカー」または、「電源スイッチを」「切」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

警告

！ 漏電遮断器の動作を確認する。

動作確認 ●故障のまま使用すると感電することがあります。



お手入れと点検 (続き)

年に2～3度のお手入れと点検

■ **タンクのそうじ** ●使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

- 1 タンク排水栓のハンドルを手前に90°回し、約2分間排水する。
- 2 タンク排水栓のハンドルを奥側に90°回す。
- 3 タンク排水管から湯が出ないことを確認する。



警告

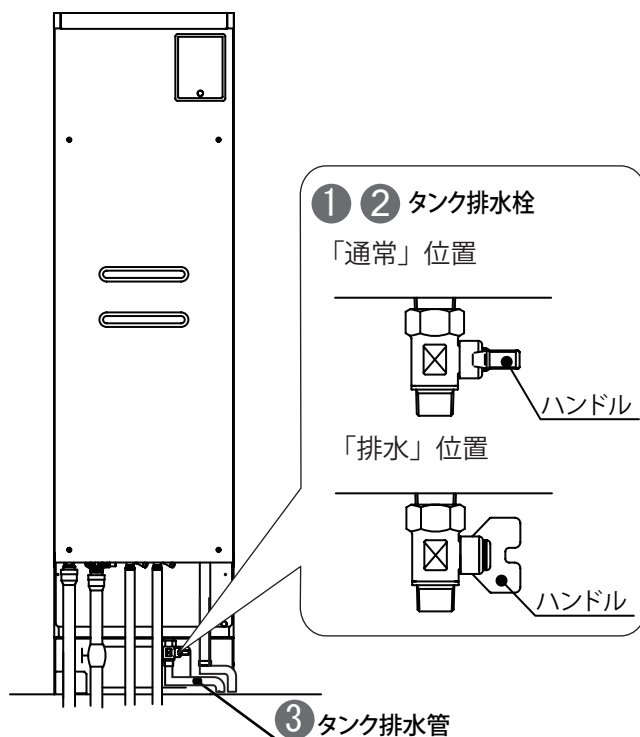


● **タンクの排水時は、お湯に手を触れない。**

● 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

お知らせ

● 排水中にタンクへの給水が行われる場合があります。



■ 配管の点検

温水器周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。

半年に1度のお手入れと点検

■ふろ配管の洗浄

●洗浄剤を使用して、ふろ配管を洗浄します。ふろ配管への汚れの付着を軽減するため、半年に1回程度洗浄してください。また、汚れが浴そうに排出されるなど、汚れが目立つ場合は、そのつどふろ配管の洗浄を行ってください。

1 入浴後、残り湯を「ふろ循環アダプター」上端より5cm以上残しておく。

2 浴そうに洗浄剤を入れる。
●使用上の注意、安全上の注意は、洗浄剤付属の説明書に従ってください。

3 ふろリモコンの「メニュー」ボタンを押してメニュー画面を表示させる。続いて、右図に従い洗浄を開始する。

●自動で約10分間、洗浄剤がふろ配管内を循環し、ふろ配管の洗浄を行います。

●その後、約3分間注水して配管内のすすぎを行います。

●途中で中止する場合は、「決定」ボタンを押します。

洗浄が終了すると、画面表示と音声で終了をお知らせします。

●洗浄は、追焚き専用熱交換器も洗浄するので浴そうの温度は洗浄前より高くなります。

4 浴そうの排水栓を開いて排水する。

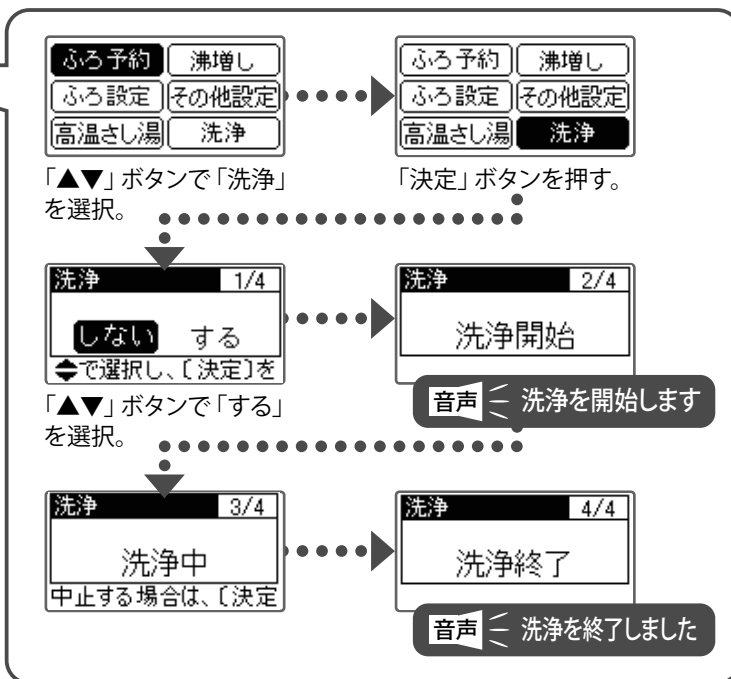
5 浴そうの掃除をする。
●浴そうには、洗浄剤が付着しますので、ふろ配管洗浄後は浴そうの掃除をしてください。

お願い

●ふろ配管の洗浄を行うと、残湯量が少なくなります。(タンク内の温度が下がります。) 洗浄後、お湯を多く使用しないようなどに実施してください。

推奨洗浄剤

- 商品名
ジャバ(1つ穴用)
- 発売元
ジョンソン株式会社



■定期点検契約(有料)のおすすめ

- 本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1度、専門技術者による定期点検(有料)を行ってください。
- 定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。
- 点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	<ul style="list-style-type: none"> ●設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	<ul style="list-style-type: none"> ●電気部品(配線、導通、動作の確認)の点検 ●弁類の点検(電動混合弁、電磁弁、三方弁など)
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク内の清掃(沈殿物の除去など) ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について(有料)

消耗部品	
●パッキン類	●混合弁
●ゴムホース	●循環ポンプ
●三方弁	●センサー類
●水流スイッチ	●電磁弁

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

こんなときは故障ではありません

■オーバーフロー排水管からお湯が出ている

- 沸き上げ中(リモコンに「沸上げ」を表示しているとき)は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。正常な動作です。
ただし、沸き上げ中でないときに、お湯や水が出る場合は弁類の故障が考えられますので点検してください。

■オーバーフロー排水管から水が出ている

- 1週間に1度強制的にオーバーフロー排水管内のトラップに水をためる動作を行うために、水がでます。

■インターホンを使用するとキーンという音がする

- リモコンの取り付け状態や場所により、キーンという大きな音(ハウリング)が発生することがあります。音量を「標準」または「小」に下げてください。

■深夜時間帯になっても、沸き上げを行わない

- 水温が高い場合や残湯量が多い場合は、深夜時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。(ピークシフト機能)

■インターホンが聞きとりにくい

- 会話は、リモコンから30cmくらい離れて行ってください。離れすぎ、近づきすぎ、声大きいなどの場合、相手のリモコンで会話が途切れたり、音が割れて聞きとりにくい場合があります。
また、周囲の雑音(シャワーやテレビなど)が大きいと相手の話す声が途切れることがあります。

お風呂が・・・

■浴そうのお湯が青く見える

- 光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなるがありますが、異常ではありません。

■ふろ循環アダプターから汚れが出る

- ふろ配管内に溜まった汚れを排出することがあります。
半年に1回はふろ配管の洗浄をしてください。→P.48

■断続的に湯張りを行う

- 湯張り中は、温度や水位確認のため、何度か湯張りを止めますが正常な動作です。

■オーバーフロー排水管から水が出ている

- 「ふろ自動」「半身浴」「足し湯」「さし水」使用時は、システム内の水質の安定を図るため約30秒間給水します。このとき、システム内の水がオーバーフロー排水管から排水される場合があります。

■ふろ機能動作中に本体から大きな音がする。

- タンクへの給水音です。給水圧が高いほど大きくなりますが、異常ではありません。
音が気になる場合は、販売店にご相談の上、給水配管に給水減圧弁(別売品)を取り付けるなど給水圧を下げる処置を施してください。
給水減圧弁仕様
型式 : RU2033ZZ-3000
設定圧力 : 300kPa
※減圧弁取付により、給湯量も低下します。

お湯を使っているとき

■設定温度のお湯がでない

- 混合水栓から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。
- タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯はでません。湯切防止を設定してください。→P.14 →P.22
- タンク内の温度が低いと設定温度の湯が出ません。また、一度に大量の湯を出湯された場合、夜間などタンク温度が低下した場合、冬季など水温が低い場合など、設定温度の湯が出ない場合があります。この場合は蛇口を少し絞ってください。

■お湯から油がでる、お湯が臭い

- お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■お湯が白く濁って見える

- 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

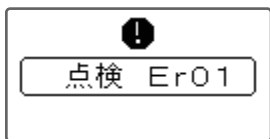
寒くなると

■ふろ循環アダプターからポンプの運転音をする

- 外気温が低いときは、凍結防止のためポンプを運転して浴そうの残り湯を循環させるので音がします。

リモコンに点検表示がでたら

■点検が必要な状況になった場合、各リモコンに点検記号が表示されバックライトが点滅します。



●表示された場合、各リモコンの「メニュー」キーを押してください。左図の点検表示画面から通常画面に戻ります。
なお、時刻表示部に点検表示が残りバックライトが点滅します。



●表示される点検記号によって以下の処置を行ってください。

■下記の点検記号が表示される場合は、お客様で処置をしてください。

●各リモコンに下表の点検記号が表示された場合、お客様で処置ができます。下記記載の処置をしてください。

表示とお知らせ内容	原因	処置
E r 15 ふろ湯張りができない。	●温水器へ水の供給がされていない。	●タンク専用止水栓を全開にしてください。
	●断水している。	●断水が終わるまで待ってください。
C 23 ふろ湯張りができない。	●浴そうの排水栓をしていない。	●浴そうの排水栓を閉じてください
	●ふろ循環アダプターのフィルターが目づまりしている。 → P.46	●ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。
E r 23 自動運転中に足し湯ができない。	●ふろ自動運転中に浴そうの排水栓を抜いた。	●ふろ自動運転中に排水栓を抜かないでください。
	●ふろ自動運転中に、多量のお湯を使用した。	●ふろ自動運転中は、多量のお湯を使用しないでください。

●記載の処置を施した後「ふろ自動」ボタンを押してください。点検表示が消え、通常通り使用できるようになります。処置をしても、なお点検記号が表示される場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または「空調修理コールセンタ」にご連絡ください。 → P.54

■下記の点検記号が表示される場合は、お買い上げの販売店または「空調修理コールセンタ」にご連絡ください。

表示	処置
E r 01 ~ 14	●温水器関係の点検が必要です。
E r 16 ~ 22	
E r 24 ~ 76	
C - 05	

お困りのときは

修理を依頼される前に、調べて見ましょう。

こんなときには	原因	処置
リモコンの表示部が消えている (電源が入らない)	●200V 電源ブレーカーが「切」になっている	●電源ブレーカーを「入」にしてください。 → P.10
	●漏電遮断器の電源スイッチが「切」になっている	●電源スイッチを「入」にしてください。再度「切」になる場合は、「切」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。
	●停電している	●停電が終わるまで待ってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている	●タンク専用止水栓を開いてください。 → P.10
	●断水している／給水圧が低い	●断水が終わるのを待ってください。
	●配管が凍結している	●お買い上げの販売店へご連絡ください。
	●停電している	●停電が終わるまで待ってください。
お湯がぬるい お湯が足りない (残湯量の表示が消えている)	●タンク休止の設定になっている。(リモコンに「タンク休止」の表示がある)	●タンク休止を解除してください。 → P.40 ●沸き増しをしてください。 → P.37
	●タンク設定が、「控えめ」である	●タンク設定を「おまかせ」「標準」にしてください。 → P.21
	●深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。 → P.37 ●深夜時間帯に湯張りなど大量のお湯を使うと、翌朝、十分に沸き上がらないことがあります。「湯切防止」を設定してください。 → P.22
湯張りができない	●いつもに比べてお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。 → P.37 ●お湯をたくさん使う予定があるときは、前日にタンク設定を「標準」に設定し、「湯切防止」の設定をしてください。 → P.21
	●タンクにお湯がない。(残湯量の表示が少ない)	●残湯量の表示が2つ以上ないと湯張りが途中で止まる場合があります。沸き増しを行ってから湯張りを行ってください。 → P.14 → P.37
追焚きができない	●浴そうの湯が少ない	●追焚きは、「ふろ循環アダプター」上端より約5cm以上お湯があるときに使用できます。水位が低いときは、「高温さし湯」、「足し湯」を行ってください。 → P.30 → P.32
	●タンクのお湯の温度が低い。(残湯量の表示はでている)	●沸き増しをしてください。残湯量は約45℃以上のお湯の量を表示しますが、追焚きはタンクのお湯と熱交換するため、タンクの湯が約60℃以上必要です。 → P.30 → P.37


こんなときには	原因	処置
高温さし湯ができない	●タンクのお湯の温度が低い。 (残湯量の表示はでている)	●沸き増しをしてください。「高温さし湯」は、タンクに約 60℃以上のお湯が必要です。 → P.37
浴そうのお湯があつい	●湯張り温度の設定が高い。	●湯張り湯温の設定を低くしてください。または「さし水」をしてください。 → P.31
	●追焚き中になっている。	●追焚きを中止してください。 → P.29
浴そうのお湯がぬるい	●湯張り湯温の設定が低い。	●湯張り湯温の設定を高くしてください。または「追焚き」をしてください。 → P.29
浴そうのお湯が少ない	●湯張り水位の設定が低い。	●湯張り水位の設定を高くしてください。 → P.26 または「足し湯」をしてください。 → P.30
	●湯張り水位の設定が高い。	●湯張り水位の設定を低くしてください。 → P.26
台所リモコンで給湯温度の変更ができない	●浴室優先が設定されている。(リモコンに「浴室優先」が表示されている)	●ふろリモコンで「浴室優先」を解除してください。 → P.24
ふろリモコンで温度の変更などボタン操作ができない	●チャイルドロックが設定されている。(台所リモコンに「チャイルドロック」が表示されている)	●台所リモコンで「チャイルドロック」を解除してください。 → P.24
音声ガイドがでない	●音声ガイドが「切」の設定になっている。	●音声ガイドを「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 → P.36
	●音量設定が「切」になっている。	●「切」以外の音量を設定してください。 → P.36
リモコンを操作しても操作音がでない	●音量設定が「切」になっている。	●「切」以外の音量を設定してください。 → P.36
オーバーフロー排水管から水が出ている	●沸き上げ中に膨張水の排出を行っている。	●沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排出します。
	●トラップへの水封動作です。	●正常動作です。1週間に1回午後1時に動作します。 → P.1
	●シスターン内の水質安定を図るための給水動作です	●正常動作です。「ふろ自動」「半身浴」「足し湯」「さし水」時に動作します。 → P.27 → P.30 → P.31 → P.33
湯張りができない 湯張りが途中で止まる	●タンクのお湯の温度が低い。 (残湯量の表示はでている)	●沸き増しをしてください。残湯量は約 45℃以上のお湯の量を表示します。残湯温度が、湯張り温度より約 5℃以上高くないと、「湯張りができない」「途中で止まる」ことがあります。 → P.14 → P.37

仕様

		仕 様	
型 式 名		BE - FS37DWD	BE - FS46DWD
設 置 場 所		屋外型	
外形寸法	高 さ	1500mm	1760mm
	幅	395mm	
	奥 行	1285mm	
電 源	時間帯別電灯※1	単相200V, 50/60Hz(ヒーター・制御用)	
	深夜電力※2	単相200V, 50/60Hz(ヒーター用)	
	昼間電力※2	単相200V, 50/60Hz(制御用)	
消費電力	ヒーター用	4.4kW	5.4kW
	制御用	9W	
	ふろ循環ポンプ	95/110W(50/60Hz)	
	ふろ機能ポンプ	95/110W(50/60Hz)	
	給湯循環ポンプ	60W	
最低作動流量		約2L/分	
タンク容量		370L	460L
沸き上げ温度		標準:約90℃ / 控えめ:約75℃ / おまかせ:約75~90℃	
質 量	製 品	約94kg	約100kg
	満 水 時	約464kg	約560kg

※1 時間帯別電灯契約で運転する場合は示します。

※2 深夜電力契約(8時間通電制御)で運転する場合は示します

愛情点検	長年ご使用の電気温水器の点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体設置場所がいつもぬれている。 ●時々漏電遮断器が「切」になる。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>▶</p> <p>ご使用中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保障とアフターサービス

■保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。（タンクは5年です。）

■補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は製造切後8年です。
※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■不明点や修理に関するご相談は

- お買い上げ販売店または、右記の「サービスエンジニアリングセンタ」にご連絡ください。

■修理を依頼されるときは

- 販売店または「サービスエンジニアリングセンタ」へ下記を連絡ください。
 1. 型式名（保証書に記載）
 2. 故障の状況
 3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
 4. 販売店名

修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします

ご購入年月日	年	月	日
販売店			
電話番号			

■空調修理コールセンタ

(0120) 649-020（携帯電話からも可）
受付時間／365日・24時間受付

■技術相談センタ

(0120) 578-011（携帯電話からも可）
受付時間／9：00～17：00（土日祭日を除く）

■サービスエンジニアリングセンタ

受付時間／17：00（日祭日を除く）

北海道 (011) 717-5146

〒060-0809
札幌市北区北9条西3-10-1（小田ビル8階）

東北 (022) 225-5972

〒980-0065
仙台市青葉区土樋1-1-11

東京 (03) 3649-3811

〒135-0016
東京都江東区東陽5-29-17（住友不動産東陽ビル）

北陸 (076) 429-6861

〒939-8214
富山市黒崎627-3

中部 (0568) 72-0131

〒485-0072
小牧市元町4-66

関西 (06) 6303-6159

〒532-0022
大阪市淀川区野中南2-11-27

中国 (082) 283-9374

〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰1-9-20

四国 (087) 833-8701

〒760-0072
高松市花園町1-1-5（花園ビル）

九州 (092) 561-4854

〒815-0031
福岡市南区清水4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

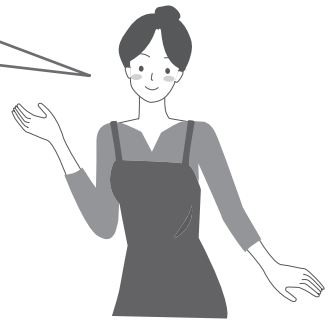
日立アプライアンス株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

用語集

普段聞きなれない用語や混同しやすい用語を説明します。



沸上げ

(わきあげ)

温水器にお湯を貯めるために自動で沸き上げることです。 → P.12

沸き増し

(わきまし)

少なくなった温水器内のお湯の量を増やすために、手動で沸き上げることです。 → P.37

湯切防止

(ゆぎれぼうし)

少なくなった温水器内のお湯の量を増やすために、昼間の時間帯に自動で沸き上げる機能のことです。 → P.22

追焚き

(おいだき)

ぬるくなった浴槽の湯を湯張り温度まで温める機能です。 → P.29

高温さし湯

温水器の高温のお湯を浴そうに入れ、おふろの温度を上昇させます。おふろのお湯の量も増やします。 → P.32

足し湯

おふろのお湯の量を増やします。湯張り温度と同じ温度です。 → P.30

さし水

浴そうに水を入れ、お湯の温度をさげることです。 → P.31

電力契約番号

各電力会社の契約制度に対応した日立独自の番号です。(電力会社の定める番号ではありません) → P.19

タンク専用止水栓

(たंकせんようすいせん)

水道から貯湯タンクに水を給水する配管の途中にある栓です。温水器への給水を止める時(排水前など)に閉じます。 → P.10

排水栓

(はいすいせん)

タンク内の水を排水するための栓で、排水栓を開くと、タンク排水管から水や湯が排水されます。 → P.10

タンク排水管

温水器内にある水や湯が排水される出口です。熱い湯が出る場合がありますので注意が必要です。 → P.10

湯張り温度

(ゆはりおんど)

「ふろ自動」機能で自動湯張りをするときの温度です。「足し湯」でもこの温度のお湯が足されます。 → P.26

混合水栓

(こんごうすいせん)

湯水混合水栓ともいいます。水とお湯が混合され蛇口からでます。シングルレバー、ツェーハンドル、サーモスタット付と種類があります。混合水栓の特徴を理解し正しくお使いください。 → P.15

残湯量

(ざんとうりょう)

温水器に残っている約45℃～約90℃のお湯の量で、リモコンの標準画面にマークで表示しています。使えるお湯の量とは異なります。 → P.14

給湯温度

混合水栓に供給されるお湯の温度です。湯張り温度とは区別しています。混合水栓の蛇口から出るお湯の温度は、季節や配管の長さ、混合水栓の種類によって変わります。 → P.23

使えるお湯の量

給湯やふろ湯張りで使えるお湯の量で、タンク内の残湯量をもとに42℃に換算したお湯のめやすの量です。リモコンの「メニュー」→「湯量確認」で表示できます。給湯やふろ湯張りでは、高温になったタンク内のお湯に水を加えて、設定された温度にしますので、残湯量より多くなります。 → P.39